

## 令和5年度 国語科「現代文B」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	『標準現代文B 改訂版』大修館書店	副教材等	『プレミアムカラー国語便覧』数研出版 『級別漢字学習7級～2級』とうほう 『現代新国語辞典改訂第六版』学研

### 1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	随想「記憶のゆがみ」	・随想を読み、筆者の意図などを的確に読み取る。	・本文の理解を通じて、人間の記憶や理解の仕方について作者の考えを読み取る。	行動観察 ワークシート
	小説「話を聞かせて」	・小説に描かれた人物、情景、心情などを的確に読み取る。	・登場人物の心情の推移を的確にとらえ、ストーリーの展開を味わう。	行動観察 ワークシート
5	常用漢字の学習	・漢字についての知識を広める。	・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。	ワークシート 小テスト
中間考査				
6	評論「マジ？」	・評論文を読み、構成、展開、要旨などを的確にとらえて、その論理性を評価する。	・言葉の意味の違いについて書かれた文章を読み、論理の展開や要旨をとらえ、筆者の物の見方や考え方を追究する。	行動観察 ワークシート
	詩「食事」「こころ」	・韻文に触れ、独特の表現形式の工夫やリズムについて考える。	・詩を声に出して読み、情景や心情をとらえ、言葉のリズムを味わう。	行動観察 レポート
7	常用漢字の学習	・漢字についての知識を広める。	・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。	ワークシート 小テスト
期末考査				
9	小説「山月記」	・小説に描かれた人物、情景、心情などを的確に読み取る。	・登場人物の心情を叙述に即して的確にとらえ、優れた人物描写、情景描写を味わう。	行動観察 ワークシート
	随想「食と想像力」	・随想を読み、筆者の意図や表現の工夫を的確に読み取る。	・身近な事象から海外における実態についての文章を読み、日本とタイという比較における作者の考えを読み取る。	行動観察 ワークシート
10	常用漢字の学習	・漢字についての知識を広める。	・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。	ワークシート 小テスト
中間考査				

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
11	評論「経験の教えについて」	・評論文を読み、構成、展開、要旨などを的確にとらえて、その論理性を評価する。	・「経験から学ぶ」ということについて書かれた文章を読み、論理の展開や要旨をとらえ、筆者の物の見方や考え方を追究する。	行動観察 ワークシート
	短歌と俳句「折々の歌」	・短歌や俳句を読み、楽しみつつ、日本の詩歌の豊かさを理解する。	・短歌と俳句を鑑賞して、作者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。	行動観察 ワークシート
12	常用漢字の学習	・漢字についての知識を広める。  期末考査	・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。	ワークシート 小テスト
1	小説「卒業」	・小説に描かれた人物、情景、心情などを的確に読み取る。  ・漢字についての知識を広める。  期末考査	・登場人物の心情の推移を的確にとらえ、ストーリーの展開を味わう。  ・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。	行動観察 ワークシート  ワークシート 小テスト

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしているか。
話すこと・聞くこと	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めているか。
読むこと	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。
書くこと	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めているか。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴のきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけているか。

### 4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「知識・理解」の5観点から評価規準に従い、総合的に評価します。

### 5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業をうけるに当たって守って欲しい事項など)

この科目では、近代以降の様々な文章に触れながら、1年間の学習を通して学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などをよく聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加して下さい。評価については、5つの観点で行います。普段の授業の1時間1時間を大切にして下さい。なお、授業だけでなく、活字に触れることが国語の力を向上させるには不可欠です。できるかぎり多くの文章に触れるようにしましょう。

## 令和5年度 国語「古典B」シラバス

	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	『新編古典B 改訂版』大修館書店	副教材等	『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版) 『古典文法要点整理ノート』(数研出版) 『全訳基本古語辞典』(三省堂)

### 1 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上をはかる態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	知恵の働き—説話	『宇治拾遺物語』 「十二の「子」文字」	○古典に用いられている文法や語句の意味を理解する。 ○話の筋を理解し、おもしろさを理解しようとする。	・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート
5	女性の視点—日記	『紫式部日記』 「和泉式部と清少納言」	○古典に用いられている文法や語句の意味を理解する。 ○話の筋を理解し、他者に対する思想や感情を捉えようとする。	・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート
	人間の本質—儒家の思想	『君子食無求飽』 『質勝文則野』 『子路問君子』 『居天下之広居』  中間考査	○漢文訓読を習熟する。 ○話の流れを把握し、表現や構成、孔子の思想を理解する。	・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート
6	歴史と人間—歴史物語	『大鏡』 「競べ弓」	○古典に用いられている文法や語句の意味を理解する。 ○話の筋を理解し、自然に対する思想や感情を捉えようとする。	・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート
7	英雄の物語—三国志	『三国志』 「水魚の交わり」 「劉備の死」  期末考査	○漢文訓読を習熟する。 ○話の流れを把握し、表現や構成、歴史的背景を理解する。	・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート
9	愛の始まり—物語	『源氏物語』 「若紫」	○古典の文法などについて理解する。 ○敬語表現について理解する。 ○それぞれの人物のものの見方を理解し、鑑賞する。	・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート
10	説得の技—逸話	『不死之薬』 『先従隗始』  中間考査	○漢文訓読に習熟しているか。 ○物語の筋を正確に理解し、巧みな表現を鑑賞する。	・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
11	自然と人生—俳諧	『去来抄』 「行く春を」	○古典の文法などについて理解する。 ○それぞれの人物のものの見方を理解し、鑑賞する。	・観察 ・発表・発言 ・ノート ・ワークシート
12	生きる知恵—道家・法家の思想	『無為而無不為』 『小国寡民』  期末考査	○漢文訓読を習熟する。 ○作品に描かれている自然観や人生観を理解する。 ○物語の筋を理解し、表現の巧みさを鑑賞する。	・観察 ・発表・発言 ・ノート ・ワークシート
1	家族を思う—物語	『大和物語』 「をばすて」  期末考査	○古典の文法などについて理解する。 ○話の流れを理解し、家族観について理解する。	・観察 ・発表・発言 ・ノート ・ワークシート

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話すこと・聞くこと	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
読むこと	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
書くこと	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴のきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

### 4 評価の方法

「関心・意欲・態度」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「知識・理解」の5観点から総合的に評価する。主に、定期考査、小テスト、提出物による評価である。

### 5 担当者からのメッセージ

この科目は、昨年度の『古典B』の発展分野として、日本や中国の古典作品を学習していく科目です。昨年度に学習した内容を踏まえながら引き続き日本で有名な作品を学習していきます。古典Bを学習していく中で日本の伝統的な文化に触れ、少しでも古典に興味・関心をもつていただくと嬉しいです。この科目では読むことと書くことを中心に活動をしていきます。

## 令和5年度 国語「国語表現」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 選択者
教科書	『国語表現』東京書籍	副教材等	

### 1 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	○調べる・取材する・発表する	・情報収集や他者への取材を通し、自身の長所や本年の目標を考え、発表する。	○情報収集の技術を身につける。 ○自らの思いをきちんと伝えられるように言葉を選び、発表する。 ○他の生徒の発表を聞く際の姿勢に気を付ける。	・観察 ・発言・発表 ・ワークシート ・提出物
5	○古典の表現に学ぶ	・読み手を意識した自己表現をする。	○読み手を意識し、独りよがりな文章にならないように留意して書く。 ○自分の作品と周りの作品と比べ、相互に鑑賞する。	
6	○話す	・自身の考えや思いを声で表現する。	○聞き手を意識し、聞き取りやすい話し方について考える。 ○話の構成に留意して、聞き手が理解しやすい話をする。 ○敬語の基本的な知識を身につける。	・観察 ・発言・発表 ・小テスト ・ワークシート ・提出物
7	○漢字学習	・漢字の知識を身につける。	○漢字の学習をする。	
9	○課題文型小論文を書く	・課題に対する自分の考えを800～1200字で書く。	○課題文の論旨を適切に理解し、批判的に検討して自らの考えを広げる。 ○課題文の筆者の意見に対する自分の考えを明確にする。 ○自分の考えが読み手に伝わるよう、論理的な表現で小論文を書く。	・観察 ・発言・発表 ・小テスト ・ワークシート ・提出物
10	○漢字学習	・漢字の知識を身につける。	○漢字の学習をする。	

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
11  12	○広告の表現に学ぶ  ○漢字学習	・自身でテーマを決定し広告を作成する。  ・漢字の知識を身につける。	○不特定多数の人に通ずる文章を書けるよう努力をする。 ○広告の表現技術について学ぶ。 ○広告の効果的な表現方法について考える。 ○他の生徒が作成した広告を鑑賞し、評価する。  ○漢字の学習をする。	・観察 ・発言・発表 ・小テスト ・ワークシート ・提出物
1	○討論する  ○漢字学習	・グループに分かれ、ディベートに向けての論題を決める。 ・論題について調べる。 ・ディベートを行う。  ・漢字の知識を身につける。	○様々な情報収集ツールを駆使して、情報をできるだけ多く集める。 ○主張の根拠となる事柄を集めるよう心掛ける。○自分たちの主張の理由や根拠をまとめる。 ○相手の反論を予測し、それに対する反論を考える。 ○主張の仕方を決め、討論に向けて練習を行う。 ○討論会を開く。  ○漢字の学習をする。	・観察 ・発言・発表 ・小テスト ・ワークシート ・提出物

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話すこと・聞くこと	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
読むこと	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
書くこと	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴のきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている

### 4 評価の方法

「関心・意欲・態度」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の5観点から総合的に評価する。主に、授業態度、発言、提出物、小テストで評価する。

### 5 担当者からのメッセージ

この科目は、国語の中でも「話すこと・聞くこと」に重きを置いた科目である。自ら進んで意見を述べることを求めます。苦手であってもできるだけ周囲との意見交換を心がけてください。普段の授業や提出物を大切にしてください。

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	高等学校日本史A新訂版(清水書院)	副教材等	

1 学習の到達目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4	私たちの時代と歴史 近代の日本と世界 1 国際環境の変化と幕藩体制の動揺	(1)時代区分について  (1)19世紀の世界とアジア (2)外国船の来航と海防策 (3)新しい学問と思想  (4)社会の変化と農民の動向 (5)幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革	科目の導入として、近代・現代などの時代区分の持つ意味について理解する。  幕藩体制下の政治・経緯基盤、身分制度の形成や対外関係の特色に注目して、社会の仕組みについて考察する。  農村を基盤とする幕藩体制が、商品経済の発展に伴う農民層の分解など構造的変化の中で動揺していく過程を、欧米諸国のアジア進出やそれへの対応と関連付けて考察する。	授業への参加度やワークシート分析  資料の作成  レポートの作成  小テスト 中間考査	
	5	2 明治維新と近代国家の形成	(1)ペリー来航と日米和親条約 (2)通商条約の締結と安政の大獄  (3)貿易の影響と尊王攘夷 (4)倒幕運動の展開 (5)幕府の滅亡と新政府の成立  (6)近代国家の成立と国民の誕生 (7)地租改正と殖産興業  中間考査	欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で開国した日本で、天皇を中心とする統一国家構想が生まれ、尊王攘夷運動や討幕運動などの動きを経て明治維新に至った過程を国際情勢と関連させて考察する。  明治政府が制度改革を推進して富国強兵・殖産興業政策を進めた背景を考察する。	授業への参加度やワークシート分析  資料の読み取り  中間考査 レポートの作成	
	6	3 立憲政体の成立と国際的地位の向上	(8)文明開化 (9)明治初期の国際関係 (10)国境の画定と北海道開拓  (11)不平士族の反乱と日朝修好条規	日本の国際的地位を向上させるための対外政策や、日本の領土が国際的に画定されたことを考察する。  不平士族による明治政府への反乱がもたらした影響を考察する。	授業への参加度やワークシート分析  資料の読み取り  期末考査 レポートの作成  小テスト	
	7		(1)自由民権運動と政党の結成 (2)松方財政と民権運動の激化 (3)立憲体制の確立  (4)初期議会与条約改正	藩閥政府に対して自由民権運動が展開して国民の間に政治的関心が高まる中、政府による準備が進められて大日本帝国憲法が制定される経緯や内容の特色を考察する。  日本が不平等な立場を脱却したことの意義とその背景にある東アジアにおける国際情勢に留意する。		
			(5)日清戦争 (6)日清戦争後の政治と日英同盟  期末考査	日清戦争前後の対外関係の変化、政党の役割に着目して、国際環境や政党政治の推移について考察する。		
	第2学期	9	大戦期の世界と日本 1 第一次世界大戦と日本	(7)日露戦争 (8)ポーツマス条約と満州・樺太  (9)韓国の植民地化 (10)近代産業の発展 (11)社会問題の発生と政府の対応  (12)明治の思想・学問・文化	国際的地位を高めた日本が、勢力を拡張し、植民地支配を進めたことがもたらした対外関係の変化について考察する。  日清戦争以前の製糸・紡績など輸出関連の軽工業部門から産業革命が展開したことや、日清・日露戦争による軍需が近代産業成立の核になったことに着目し、経済と対外政策との関連を考察する。また、都市における貧民問題や労働問題、社会運動の発生について理解する。  近代文化の特色とその成立の背景について考察する。	授業への参加度やワークシート分析  資料の読み取り  小テスト  中間考査 レポートの作成
		10		(1)護憲運動と大正デモクラシー (2)第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 (3)大戦景気と米騒動 (4)政党内閣の成立と戦後恐慌	政党の役割と社会的な基盤に着目して、政党政治の推移について考察する。 第一次世界大戦前後の国際情勢に着目して、国内外の動向を考察する。また、日本の経済発展に与えた影響を考察する。	授業への参加度やワークシート分析  資料の読み取り  小テスト  中間考査 レポートの作成

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	
第2学期			(5)ヴェルサイユ体制 (6)国際連盟の成立とワシントン体制  中間考査	中国・朝鮮における民族運動の高揚、国際的な協調体制の成立などに着目して、国内外の動向を考察する。	
			(7)社会運動の高まり (8)関東大震災と政党内閣の時代	知識層・中間層の増加、デモクラシーの風潮の高まりなどの時代背景を重視し、社会運動の高まりや二大政党制による政党内閣制の意義について考察する。	
	11	2 第二次世界大戦と日本	(9)大衆文化の成立  (1)金融恐慌と外交政策 (2)世界恐慌と昭和恐慌  (3)満州事変と国連脱退 (4)二・二六事件と日中戦争 (5)第二次世界大戦と日本 (6)日独伊三国同盟と日米の対立  (7)アジア太平洋戦争(太平洋戦争)の勃発 (8)日本占領下のアジア	経済の発展や思想の動向、教育の普及などに見られる時代の動きに着目して、マスメディアの発達を通じて大衆社会の基盤が形成され大衆文化が発展したことを考察する。  世界恐慌による資本主義諸国の経済危機と保護貿易主義への動き、全体主義の台頭による国際関係の変化と協調関係の崩壊に着目して、日本をめぐる内外情勢の変動について考察する。  中国との戦争の長期化及び国際関係の悪化、戦時体制の強化の動きに着目し、日本で全体主義的な国家体制が進展し、米英諸国との戦争に拡大した過程を考察する。  日本が多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたことに着目する。	授業への参加度やワークシート分析  ビデオ視聴  レポート  小テスト 期末考査
	12		(9)戦時下の国民生活 (10)日本の敗戦  期末考査	日本各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下をはじめ空前の戦禍を被ったことに着目する。	
第3学期	1	現代の世界と日本			授業への参加度やワークシート分析  資料の読み取り  学年末考査 レポート
	1	戦後政治の動向と国際社会	(1)占領と改革 (2)冷戦と占領政策の転換 (3)大戦後の国際情勢と日本の独立	占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、日本の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察する。	
	2	経済の発展と国民生活の変化	(1)55年体制の成立 (2)高度経済成長 (3)安定成長から経済大国へ	戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察する。	
	3	現代の日本と世界	(1)冷戦の終結 (2)55年体制の崩壊  学年末考査	冷戦の終結を機とした国際貢献も含めて、日本が国際社会において果たしてきた役割を考察する。	

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

授業に参加するにあたっては、ぜひ、意欲を持って臨んでください。授業に対する準備はもちろん、授業内容が多少難しくても「わかろうとする気持ち」が大切です。歴史は人が創り出してきた軌跡です。必ず理解することが出来ます。これから社会へ出て行く高校生にとって、過去を知ることが未来に生きていくときの判断材料の一つになるに違いありません。頑張って良い授業を創りましょう。
---

## 令和5年度 地理歴史科「戦後の歴史」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 ABCDEF 組
教科書	『要説世界史 改訂版』(山川出版社)	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等					
4   5  6	第4章 アジア諸国の 変貌	1 オスマン帝国の動 揺と民族の自覚 2 南アジア・東南ア ジアの植民地化 3 東アジアの変容と 日本の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オスマン帝国の情勢がどのように変化したのか関心をもち、意欲的に追究する。</li> <li>・イギリスをはじめとするアジア諸国の植民地化がどのように進んだのか、歴史的意義を判断する。</li> <li>・19世紀の世界の一体化とその特質に関する資料を活用するとともに追究考察し過程や結果を適切に表現する。</li> <li>・19世紀世界の特質について理解しその知識を見に付ける。</li> </ul>	行動観察 レポート ノート 小テスト					
					中間考査	教科書 107～132 ページ			
					7	第5章 世界戦争と平 和	1 帝国主義の成立と 列強の情勢 2 世界分割とアジ ア・アフリカ 3 二つの世界大戦と その影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国主義時代にはどのような特色が見られるか関心をもち意欲的に追究する。</li> <li>・列強の国内情勢とアジア諸国への影響を理解し社会的特徴と歴史的意義を判断する。</li> <li>・資本輸出の地理的分布など、貿易活動に関わる資料を活用し過程や結果を適切に表現する。</li> <li>・二つの世界大戦を含めた20世紀初めの国際関係を理解し、その歴史的過程について理解する。</li> </ul>	行動観察 レポート ノート 小テスト
	考査返却								
9   10  11	第5章 世界戦争と平 和  第6章 三つの世界の 形成	3 二つの世界大戦と その影響  1 冷戦期の世界と日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦と大戦後の欧米社会の動向、アジアの民族運動、第二次世界大戦の背景と動向を理解する。</li> <li>・二度の世界大戦について地図や、写真、映像、文字資料などを集め、適切に活用している。</li> <li>・第一次世界大戦の特色を考え、アジアへの影響について考察する。</li> </ul>	行動観察 レポート ノート 小テスト					
					中間考査	教科書 144～161 ページ			
					11	第6章 三つの世界の 形成	2 アジア・アフリ カ・ラテンアメリカ の自立と課題  3 米ソ両大国の動揺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷戦期の国際情勢を学習し、「三つの世界」が形成されたいきさつを理解する。</li> <li>・諸民族の自立が先進国に及ぼした影響について考察する。</li> <li>・米ソ両国の威信・指導力が低下したことを理解する。</li> <li>・米ソのリーダーシップが低下した原因について考察する。</li> <li>・核開発とその問題について、関心を持ち学ぼうとしている。</li> <li>・社会主義なぜ動揺したかについて理解する。</li> <li>・アメリカがベトナムから撤退した意義について考察する。</li> </ul>	行動観察 レポート ノート 小テスト
12	考査返却								

1    3	第7章 グローバル化 する世界	1 大国の動揺と国際 経済の危機 2 社会主義の後退と 冷戦の終結 3 グローバル化と多 極化 4 地域社会への歩み	・世界経済が構造的に変容したことを把握し、産業の構造が転換され、地域間の相互依存が強まったことを理解する。 ・ソ連の改革が東欧諸国の革命を進めたことに気付き、社会主義諸国が市場経済に移行したことについて考察する。 ・著名な人物を調べて発表する。	行動観察 レポート ノート 小テスト
	学年末考査	教科書 170～188 ページ		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見だし、世界史的視野に立って、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。
資料活用の技能	近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。
知識・理解	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

一生懸命取り組んでください。
----------------

## 令和5年度 公民科「現代社会」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	高等学校改訂版新現代社会（第一学習社）	副教材等	

### 1 学習の到達目標

<p>人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせる。 現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する基礎を養う。 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4   5   6	第1編 私たちの生きる社会	1章 環境と私たちの生活	1章 ・かけがえのない地球 ・地球環境のいま	行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析 中間考査
2章 資源・エネルギー問題と私たちの生活		2章 ・私たちの地球を守るために ・限りある資源 ・資源問題の解決を目指して		
3章 科学技術の発達と私たちの生命		3章 ・科学技術の発達と生命 ・生命倫理をめぐる問題		
7	第2編 現代社会と人間としてのあり方、生き方	4章 高度情報社会と私たちの生活 中間考査	4章 ・情報の高度化の進展 ・高度情報社会の課題  教科書 p 4～22	
1章 青年期と自己の形成		1章 ・青年期とは ・青年期を充実させるために ・自立に向けて	・伝統や文化とのかかわり ・社会とのかかわり ・私たちの生きがい	行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析 期末考査
9   10		2章 個人の尊重と法の支配 期末考査	2章 ・個人と国家 ・世界の政治体制 教科書 p 22～44	
3章 現代の民主政治と政治参加への意義		3章 ・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と日本の安全保障 ・冷戦終結後の防衛問題 ・平等に生きる権利と自由に生きる権利 ・豊かに生きる権利 ・新しい人権 ・基本的人権と公共の福祉	・国会の運営と権限 ・内閣と行政の民主化 ・裁判所と人権保障 ・法と私たちの生活 ・地方自治と住民の福祉 ・選挙制度の現状と課題 ・世論の形成と政治参加	行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析 中間考査
4章 国際政治の動向と日本の役割 中間考査		4章 ・国家主権と国際法 ・国際連合の役割 ・第二次世界大戦後の国際社会 ・冷戦終結後の国際社会 教科書 p 46～92	・核兵器の廃絶と国際平和 ・地域紛争と人種・民族問題 ・国境と領土問題 ・日本の役割と私たちの生き方	行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析 中間考査
		5章 現代の経済社会と私たちの生活	5章 ・経済と私たちの生活 ・経済体制の変容 ・現代の企業 ・市場のしくみ	・経済成長と景気の変動 ・財政のしくみと税金 ・金融機関のはたらき ・戦後日本経済のあゆみ

11			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済の現状と展望</li> <li>・技術革新の進展と産業構造の変化</li> <li>・中小企業の現状と役割</li> <li>・食の安全とこれからの日本の農業</li> <li>・雇用と労働問題</li> <li>・労働環境の整備</li> <li>・公害の防止から環境保全へ</li> <li>・消費者問題と消費者主義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障と福祉社会</li> <li>・これからの社会保障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>ノート分析</li> <li>資料分析</li> <li>レポート分析</li> <li>期末考査</li> </ul>
12		6章 国際経済の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際分業と貿易</li> <li>・国際経済体制のあゆみ</li> <li>・国際収支と為替相場</li> <li>・国際経済の動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進む地域的経済統合</li> <li>・発展途上国の経済と南北問題</li> <li>・国際社会のこれから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>ノート分析</li> <li>資料分析</li> <li>レポート分析</li> </ul>
		期末考査	教科書 p 94～150		期末考査
1		7章 民主社会に生きる倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人生を求めて</li> <li>・日本の伝統的な考え方</li> <li>・近代の西洋社会に見られる考え方</li> <li>・近代市民社会から大衆社会へ</li> <li>・他者とともに生きる</li> <li>・豊かな社会の実現に向けて</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>ノート分析</li> <li>資料分析</li> <li>レポート分析</li> <li>学年末考査</li> </ul>
	第3編 ともに生きる社会 をめざして	ケーススタディ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障と消費税</li> <li>・クジラは野生保護動物か、水産資源か</li> <li>・人口問題と私たちの未来</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>ノート分析</li> <li>資料分析</li> <li>レポート分析</li> <li>学年末考査</li> </ul>
		学年末考査	教科書 p 154～170		
2					
3					

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度と平和を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。
思考・判断・表現	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の事柄の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。
資料活用の技能	現代社会の基本的な人権と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。
知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>授業に必要なものは必ず持ってくる。忘れた場合は、必ず担当者に声をかけること。</p> <p>また、提出物は必ず期限内に出すこと。</p>
---

## 令和5年度 公民科「倫理」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 選択Ⅲ・Ⅳ
教科書	高等学校 倫理 (第一学習社)	副教材等	/

### 1 学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者とともに生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	人間とは何か 青年期の課題と自己形成	青年期の意義と課題 他者との関わりの中で	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の体験や悩みを振り返ることを通して、現代社会における青年期の意義と課題を考察し、自己の在り方や生き方について思索を深める。</li> <li>意見交流を通して、他者との関わりの中における自己の在り方生き方について思索を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート</li> <li>プリント記入</li> <li>諸資料活用</li> </ul>
5	人間としての自覚 ①古代ギリシア思想	神話、 ソクラテス プラトン アリストテレス 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギリシア思想の流れを概観しながら、世界の捉え方について視野を広げるとともに、「善く生きる」ことについて考察し、自己の在り方生き方について思索を深める。</li> </ul>	中間考査
6	②一神教の考え	ユダヤ教 キリスト教 イスラム教	<ul style="list-style-type: none"> <li>キリスト教の根本を理解し、現代社会の在り方や自己の生き方について思索を深める。</li> <li>イスラム教思想の根本を理解し、相互扶助など共同体の在り方や人間相互のつながりについて、現代社会や自己の課題と結びつけて思索を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート</li> <li>プリント記入</li> <li>諸資料活用</li> </ul>
7	③仏陀 ④徳と政治 中国思想	古代インド思想の形成 仏陀の思想 孔子の思想 孟子・荀子 道家 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏教の世界観や教えを手掛かりにして、人生における課題と結びつけながら自己の在り方生き方について思索を深める。</li> <li>儒教の教えを手掛かりにして、望ましい人間関係の在り方や社会の在り方について、現代社会や自己の課題と結びつけて思索を深める。</li> </ul>	期末考査
9	国際社会に生きる日本人 ①日本の風土と自然観 ②仏教の受容と展開 ③国学と民衆の思想	日本人の宗教観・倫理観 最澄・空海 近世民衆の思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代文献や伝統文化、年中行事などから日本人の心情やものの見方・考え方を考察し、風土との関わりについて理解する。</li> <li>日本における仏教の展開について歴史的視点から理解を深め、日本文化や日本人の思想にどのような影響を与えたか、日常生活や伝統文化と結びつけながら考察する。</li> <li>庶民が文化や思想の形成に影響を与えるようになっていった経緯やその思想を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート</li> <li>プリント記入</li> <li>諸資料活用</li> </ul>
10	④現代日本の思想 現代に生きる人間の倫理 ①人間の尊厳 ②近代の科学革命と自然観	個人と国家 中間考査 ルネサンス 宗教改革 ベーコン デカルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間性の回復に努めたヒューマニストや人間の生き方について考察したモラリストの活動や思想を手掛かりにして、人間の尊厳について思索を深める。</li> <li>人間性の回復に努めたヒューマニストや人間の生き方について考察したモラリストの活動や思想を手掛かりにして、人間の尊厳について思索を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート</li> <li>プリント記入</li> <li>諸資料活用</li> </ul>

11	③自由で平等な社会の実現 ④人間性の回復と主体性の確立 ⑤現代の思想と人間像 ⑥生命への畏敬と社会参加	社会契約説 カント・ヘーゲル 功利主義  社会主義 実存主義  近代的理性 正義と偏見	・民主社会の形成の基礎となった先哲の思想を手掛かりにして、個人と社会の関係や、個人と国家や法との関係について考察する  ・資本主義経済の発展や科学技術の発展に伴う社会変化の中で登場した種々の近代思想を手掛かりにして、現代社会の在り方について再考察し、他者と社会とどのように主体的に関わりながら生きていくのか思索を深める。	
12		期末考査		期末考査
1	現代の諸課題と倫理 ①生命の問題と倫理課題 ②環境の問題と倫理課題 ③家族・地域社会と倫理課題 ④情報社会と倫理課題 ⑤宗教・文化と倫理課題 ⑥国際平和と人類の福祉	・自己決定の尊重と末期医療 ・生物多様性と自然との共生 ・少子化 ・高齢化 ・情報リテラシー ・情報モラル ・信仰への理解 ・異文化理解と多文化共生 ・地球市民として ・平和な世界にむけて	・科学技術の発達や社会生活の変化、国際関係の変化によって生じた現代の倫理的課題について、既習の知識や収集した諸資料などを用いて考察を深め、社会の在り方や社会の一員おとしての自己の役割について思索を深める。  ・現代の倫理的課題のうち興味・関心をもって探究したいと思う項目を選択し、探究に必要な諸資料を収集してレポートをまとめ、発表する	・授業態度 ・発問評価 ・ノート ・プリント記入 ・諸資料活用 ・レポート作成
		学年末考査		学年末考査

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	積極的に授業に参加しているか、与えられた課題を進んで行っているか。
思考・判断・表現	自分の意見をもち、それをまとめられるか。
資料活用の技能	教科書、ノートを十分に活用しているか。
知識・理解	授業で学んだ知識を身に付けたかを確認します。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>倫理は生き方を学ぶ教科です。とても難しいイメージがありますがみなさんが考えやすい内容で授業をしていきます。よろしくお願ひします。授業を受けるにあたり、次のことを守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①授業の準備をしっかりと、忘れ物がないようにしてください。</li> <li>②授業に必要なものは持ち込まないでください。</li> <li>③提出物の提出期限を守ること。</li> <li>④自分の考えを積極的に書いてください。</li> </ol> <p>それでは、1年間よろしくお願ひします。</p>
--

## 令和5年度 数学科「数学Ⅲ」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A組 (選択)
教科書	高校数学Ⅲ (実教出版)	副教材等	

### 1 学習の到達目標

平面上の曲線と複素数平面・極限・微分法及び積分法について理解を深める。基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばす。数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用しようとする態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	1章 関数とそのグラフ	1節 関数とそのグラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な分数関数や無理関数のグラフの特徴について学ぶ。</li> <li>・逆関数の意味を理解し、その求め方について学ぶ。</li> <li>・弧度法と三角関数の意味を理解し、グラフがかけるようになる。</li> </ul>	ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート
	2章 微分法	1節 導関数  中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な関数の微分係数や導関数の求め方について学ぶ。</li> <li>・関数の積や商の微分法について学ぶ。</li> <li>・合成関数について理解し、その導関数の求め方について学ぶ。</li> </ul> 教科書 p 14～43	ノート・観察 ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート
6		2節 いろいろな関数の導関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数の導関数の求め方について学ぶ。</li> <li>・対数関数や指数関数の導関数の求め方について学ぶ。</li> <li>・高次導関数の意味を理解し、その求め方について学ぶ。</li> </ul>	ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート
		3節 微分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数の増減や極値、最大値や最小値の求め方を理解し、接線の方程式の求め方について学ぶ。</li> <li>・第2次導関数を用いて曲線の凹凸や変曲点を調べ、関数のグラフの概形をつかむ方法について学ぶ。</li> <li>・微分法を利用して、速度や加速度の求め方について学ぶ。</li> </ul>	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート・観察
7	3章 積分法	1節 不定積分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定積分の基本的な性質を理解し、その求め方について学ぶ。</li> <li>・置換積分や部分積分を利用して、いろいろな関数の不定積分の求め方について学ぶ。</li> </ul>	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察
		期末考査	教科書 p 44～80	
9 10		2節 定積分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定積分の基本的な性質を理解し、その求め方について学ぶ。</li> <li>・置換積分や部分積分を利用して、いろいろな関数の定積分の求め方について学ぶ。</li> </ul>	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察
		3節 定積分の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定積分を用いて基本的な図形の面積や体積、曲線の長さの求め方について学ぶ。</li> <li>・定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や体積、曲線の長さなどの求め方について学ぶ。</li> </ul>	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察
10	4章 極限	1節 数列の極限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の基本的な事項を理解し、その収束や発散について学ぶ。</li> <li>・数列の極限やその調べ方を理解し、その極限値の求め方を学ぶ。</li> <li>・無限等比級数の和を求める方法を学ぶ。</li> <li>・区分求積法の考え方を学ぶ。</li> </ul>	ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察
		中間考査	教科書 p 81～124	

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
11	5章 平面上の曲線	2節 関数の極限	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な関数の極限値の求め方について学ぶ。</li> <li>いろいろな関数の極限について学ぶ。</li> <li>関数の連続性について学ぶ。</li> </ul>	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート・観察
		1節 2次曲線	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな2次曲線の特徴を学ぶ。</li> <li>2次曲線の式や曲線の概形をつかむ方法について学ぶ。</li> </ul>	ノート・観察 ノート・ワークシート
12	6章 複素数平面	2節 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> <li>媒介変数表示の意味や、曲線が媒介変数を利用して表わされることを学ぶ。</li> <li>極座標の考え方、直線や曲線が極方程式で表わされることを学ぶ。</li> </ul>	ノート・ワークシート ノート・ワークシート
		期末考査	教科書 p 125～155	
1	6章 複素数平面	1節 複素数と複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> <li>複素数の四則演算や複素数平面上の図示の仕方について学ぶ。</li> <li>複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和・差・積・商の図形的な意味について学ぶ。</li> <li>ド・モアブルの定理について学ぶ。</li> </ul>	ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート
2		期末考査	教科書 p 156～174	

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、考察の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能及び知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>数学はいろいろな表現方法をとおして、理論的な道筋をたどる遠足のようなものです。道に迷ったら、分かるところまで戻って、もう一度地図（教科書）をみれば、行き先がどちらかが分かります。道先案内人（教師や友達）に尋ねてくれてもOKです。大事なのはすぐにあきらめず時間をかけて、落ち着いて取り組むことです。数学は時間さえかければ必ず解決する教科です。目的地に着いた時の喜びもひとしお、我々と一緒にいろんな旅にでかけましょう。</p> <p>数学の授業では、問題が解けるようになることも大切ですが、話を聞く態度や積極的に授業に取り組むという姿勢が重要です。難しい問題が今後たくさん出てくるかもしれませんが、真正面から向き合い、一つひとつ乗り越えていきましょう。</p>
---

## 令和5年度 数学科「数学A」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組 (数学A 選択者)
教科書	改訂版 新 高校の数学A(数研出版)	副教材等	改訂版 ポイントノート数学A(数研出版)

### 1 学習の到達目標

場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1章 場合の数と確率	第1節 順列・組合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件を満たすものを集合の要素としてとらえることを学ぶ。</li> <li>・共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合について学ぶ。</li> <li>・ものを数え上げるのに集合を利用することを学ぶ。</li> <li>・補集合の要素の個数を求めることについて学ぶ。</li> <li>・ベン図を利用することで、和集合の要素の個数を求めることができる。</li> <li>・表や樹形図などを用いて場合の数をもれなく重複なく数えることができる。</li> <li>・和の法則・積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。</li> <li>・積の法則が、既習の樹形図の特別な場合であることを理解できる。</li> </ul>	ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・観察 ノート・ワークシート
5		中間考査	教科書 p 6～22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順列の公式を利用することができる。</li> <li>・簡単な場合の数を、順列の考えを利用して求めることができる。</li> <li>・順列の総数を階乗の記号で表し、それを活用できる</li> <li>・様々な場合の数を、順列、円順列、重複順列に帰着させて求めることができる。</li> <li>・様々な場合の数を数えるのに、順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。</li> </ul>
6		第2節 確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合せの総数と順列の総数の関係を理解している。</li> <li>・組合せの公式を利用することができる。</li> <li>・簡単な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。</li> <li>・組合せの性質を理解し、公式を利用することができる。</li> <li>・様々な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。</li> </ul>	ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート
7			期末考査	教科書 p 23～39
9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。</li> <li>・反復試行の意味を理解し、確率の求め方を組合せの考えと関連付けて理解できる。また、公式を用いて反復試行の確率を求めることができる。</li> </ul>	ノート・観察 ノート・ワークシート
10			中間考査	教科書 p 40～51

11	第2章 図形の性質	第1節 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。</li> <li>・角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それらを用いて辺の長さを求めることができる。</li> <li>・外角の二等分線についても同様の定理が成り立つことに興味をもつ。</li> <li>・三角形の外心、内心、重心の性質を理解している。</li> </ul>	ノト・ワークシート
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。</li> <li>・円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察できる。</li> <li>・円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。</li> <li>・四角形が円に内接する条件を理解し、対角に着目して考察できる。</li> </ul>	ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート
12		期末考査	教科書 p 52～71	ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート 小テスト
1		第2節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接線と弦のつくる角の性質を証明する際に、場合分けをしながら考察することができる。</li> <li>・接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。</li> <li>・円の接線の長さが等しいことを理解し、線分の長さを求めることができる。</li> <li>・方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。</li> <li>・2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。</li> <li>・2つの円の位置関係には5つのパターンがあることを理解している。</li> <li>・作図の問題について、コンパスと定規を使って積極的に取り組もうとする。</li> <li>・2直線の関係、2平面の関係、直線と平面の関係には3種類ないしは2種類あることを理解している。</li> <li>・空間の2直線のなす角の定義を理解し、角の大きさを求めることができる。</li> <li>・直線と平面が垂直になる条件を理解している。</li> <li>・正多面体が5種類あることを知っている。</li> <li>・正多面体が5種類しかないことに興味をもち、1つの頂点に集まる内角に着目して考察することができる。</li> </ul>	ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート ノト・ワークシート 小テスト 小テスト
		学年末考査	教科書 p 72～p 91	小テスト

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。
思考・判断・表現	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>数学は理論的な道筋をたどる遠足のようなものです。道に迷ったら、分かるところまで戻って、もう一度地図（教科書）をみれば、行き先がどちらかが分かりますし、道案内人（教師や友達）に尋ねてくれてもOKです。大事なのはすぐにあきらめず時間をかけること。数学は時間さえかければ必ず解決する教科です。目的地に着いた時の喜びもひとしお、我々と一緒にいろんな旅にでかけましょう。</p> <p>数学の授業では、問題が解けるようになることも大切ですが、話を聞く態度や積極的に授業に取り組むという姿勢も大切にしていきます。難しい問題が今後たくさん出てくるかもしれませんが、真正面から向き合い、一つ一つ乗り越えていきましょう。</p>
--

# 令和5年度 理科「物理」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通 科 3年 AB組 (選択)
教科書	改訂版 物理 (数研出版)	副教材等	

## 1 学習の到達目標

<p>日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。</p> <p>目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てる。</p> <p>物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。</p>
--

## 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動	1 速度・加速度	・平面上の運動を扱うので，速度や加速度のベクトルを用いた扱いを十分に理解し，慣れる。	行動観察
		2 落体の運動	・放物運動における速度ベクトルを水平成分と鉛直成分とに分解し，定量的に理解する。	ワークシート分析
5	第2章 剛体	1 剛体に働く力	・剛体は，力の大きさと向きのほか，作用線の位置により決まることを学ぶ。	ワークシート分析 小テスト
		1 運動量と力積 ・運動量保存則 2 反発係数	・運動の法則から力積と運動量の関係が導かれ，これをもとに物体の衝突や分裂などの現象を扱う方法を学ぶ。 ・反発係数は衝突直後と直前における 2 物体の相対速度の大きさの比で表されることを学ぶ。	ワークシート分析 実験レポート分析
6	第4章 円運動と万有引力	中間考査	教科書 p 6～5 4	
		1 等速円運動・慣性力	・等速円運動における「回転の速さ」は，円周にそった物体の速さ，角速度，回転数，周期などを用いて表されることを学ぶ。	ワークシート分析
		2 単振動	・等速円運動をする物体の直径方向への正射影が単振動であることを学ぶ。	ワークシート分析
7	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化	3 万有引力	・ケプラーの法則と運動方程式とから万有引力の公式が得られることを，惑星の運動を等速円運動とみなした場合について導きだす過程を示す中で理解する。	ワークシート分析
		1 気体の法則	・ボイル・シャルルの法則から，理想気体の状態方程式が得られることを学ぶ。	行動観察 ワークシート分析
		2 気体分子の運動	・気体分子の運動を力学的に扱って気体の圧力を表す式を学ぶ。この式と理想気体の状態方程式とから，気体分子の運動エネルギーの平均値が絶対温度に比例することを学ぶ。	ワークシート分析 実験レポート分析 小テスト
9	第3編 波 第1章 波の伝わり方	3 気体の状態変化	・熱力学第一法則の式を用いて定積変化，定圧変化，等温変化，断熱変化を学ぶ。	行動観察 ワークシート分析
		期末考査	教科書 p 5 4～1 2 1	
		1 正弦波	・振動が周囲の媒質に伝わると正弦波が生じることを学ぶ。	行動観察 ワークシート分析
10	第2章 音の伝わり方	2 波の伝わり方	・波の反射・屈折・回折の現象を理解させ，ホイヘンスの原理を学ぶ。	ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析
		1 音の伝わり方	・音波は波としての諸性質，すなわち反射・屈折・回折・干渉の各現象を示すことを理解する。	ワークシート分析
	第3章 光	2 音のドップラー効果	・波源と観測者とが相対的に運動しているときには，観測者が受ける振動数は波源本来の振動数とは異なることを理解する。	ワークシート分析
		1 光の性質 2 レンズ 3 光の干渉と回折	・光にも反射・屈折の法則が成りたつことを理解する。 ・凸レンズと凹レンズの性質を学ぶ。 ・〈実験〉ヤングの実験 ・実験を通して干渉と回折について理解する。	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
第4編 電気と磁気 第1章 電場	1 静電気力	・原子核はプラスの，電子はマイナスの電気を帯びていることを再確認する。	ワークシート分析	
	2 電場・電位	・電荷のまわりになされる電場は，試験電荷にはたらく静電気力の大きさと向きにより定まるベクトルであることを学ぶ	ワークシート分析 実験レポート分析	
	3 物質と電場	・電場の中に物体を置くと，物体の表面には電荷が現れるが，物体が導体か不導体かにより，現象が異なることを学ぶ。	ワークシート分析 小テスト	
	4 コンデンサー	・電場と電位，電場内に置かれた導体や不導体のふるまいなど，既習事項と関連させながらコンデンサーを学ぶ。	ワークシート分析 小テスト	

11	第2章 電流	1 オームの法則 2 直列回路  3 半導体  中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>電流の向きと電流の大きさについてしっかり学ぶ</li> <li>電流や電圧の意味を確認しながらキルヒホッフの法則をきちんと理解する。</li> <li>抵抗率が導体と不導体の中間にある半導体について、電流が流れるしくみや特徴を学ぶ。</li> <li>半導体ダイオードの原理や整流作用について示し、トランジスタについても学ぶ。</li> </ul> 教科書 p 130～263	ワークシート分析 ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析 小テスト ワークシート分析 小テスト
	第3章 電流と磁場	1 磁場 2 電流が作る磁場 3 電流が磁場から受ける力 4 ローレンツ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>磁石の性質を示し、点電荷のつくる電場と対比させながら、磁場について定義をし、さらに磁力線について学ぶ。</li> <li>直線電流が周囲につくる磁場、円形電流が円の中心につくる磁場、ソレノイドがその内部につくる磁場について学ぶ。</li> <li>電流が磁場から受ける力について学び、その力の向きをしっかりと理解する。</li> <li>運動する荷電粒子が磁場から受ける力（ローレンツ力）について理解する。</li> <li>磁場を横切る導線に生じる誘導起電力について学ぶ。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
	第4章 電磁誘導と電磁波	1 電磁誘導の法則 2 交流の発生 3 自己誘導と相互誘導 4 交流回路 5 電磁波	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流の発生のしくみを学び、交流の実効値の意味をしっかりと理解する。</li> <li>コイルに流れる電流が変化すると誘導起電力が生じ、その大きさは電流の変化の速さに比例することを学ぶ。</li> <li>抵抗に直列につないだコイルやコンデンサーに加わる電圧の位相について学ぶ。</li> <li>電磁波の発生のしくみについて学ぶ。</li> </ul>	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
	12	第5編 原子 第1章 電子と光	1 電子 2 光の粒子性 3 X線 4 粒子の波動性 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>陰極線を学び、陰極線の本体が電子であることを理解する。</li> <li>光電効果の現象を定性的に学ぶ。</li> <li>X線の発生について学び、X線の波動性から結晶構造をX線回折によって解析できることを理解する。</li> <li>光の粒子性と対比しながら、電子に波動性があることを学ぶ。</li> </ul> 教科書 p 266～356
1	第2章 原子と原子核	1 原子の構造とエネルギー準位 2 原子核 3 放射線とその性質 4 核反応と核エネルギー 5 素粒子 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な原子模型について説明し、水素原子のエネルギー準位を学ぶ。</li> <li>原子核が陽子と中性子とからなること、また核力、同位体について学ぶ</li> <li>不安定な原子核から放出される放射線には、おもにα線、β線、γ線の3種類があることを学ぶ。</li> <li>原子力発電のしくみにもふれ、核融合反応によって大きなエネルギーが解放されることを学ぶ。</li> <li>素粒子がハドロン、レプトン、ゲージ粒子の3種類に分類され、そのさらに細分化された分類まで学ぶ。</li> </ul> 教科書 p 358～388	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析 ワークシート分析

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した内容を見返せるように、きちんとノートを取るようになしてください。</li> <li>実験や観察、話し合いなどには積極的に参加してください。</li> </ul>
---

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 3年 AB・CD 組(選択)
教科書	改訂 新編化学	副教材等	

## 1 学習の到達目標

物質の状態変化、溶液の性質について理解できる。  
 化学変化に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡をもとに化学反応に関する概念や法則を理解できる。  
 無機物質の性質や反応を探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることが理解できる。  
 有機化合物の性質や反応を探究し、有機化合物の分類と特徴が理解できる。  
 高分子化合物の性質や反応を探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴が理解できる。  
 それぞれの内容を社会や日常生活と関連づけて考察することができる。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1編 物質の状態 1章 物質の状態と変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>状態変化</li> <li>気体の性質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の三態変化と、熱の出入りを学習する。</li> <li>飽和蒸気圧と沸騰の関係を学ぶ。また、化学結合と物質の融点・沸点との関係を学習する。</li> <li>ボイルの法則、シャルルの法則を理解する。</li> <li>気体の状態方程式を理解する。</li> <li>理想気体と実際の気体との違いを理解する。</li> </ul>	行動観察 小テスト 実験レポート ワークシート
	5	2章 溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶解平衡</li> <li>希薄溶液の性質</li> <li>コロイド</li> </ul> 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶解のしくみと溶解度について学習する。</li> <li>沸点上昇・凝固点降下について学習する。</li> <li>コロイドを理解し、その性質を学習する。</li> </ul>	
	6	3章 固体の構造  第2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光	<ul style="list-style-type: none"> <li>固体と結晶</li> <li>結晶の構造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学結合と結晶の性質について、復習する。</li> <li>金属結晶、イオン結晶、共有結晶、分子間の結合、および分子結晶の性質について学習する。</li> </ul>	行動観察 小テスト 実験レポート ワークシート
7	2章 電池と電気分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池</li> <li>水溶液の電気分解</li> </ul> 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>反応熱について学習する。</li> <li>ヘスの法則を理解する。</li> <li>電池の原理とおもな電池の構成を学習する。</li> <li>水溶液の電気分解を学習し、電気分解の利用として、電解精錬や熔融塩電解を学ぶ。</li> </ul>		

第2学期	9	第3編 化学反応の速さと平衡	<ul style="list-style-type: none"> <li>反応の速さ</li> <li>反応速度を変える条件</li> <li>反応のしくみ</li> <li>可逆反応と化学平衡</li> <li>平衡の移動</li> <li>電離平衡</li> <li>水の電離平衡とpH</li> <li>塩と化学平衡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>反応の速さと濃度、圧力との関係を学習する。</li> <li>反応の速さと温度との関係を学習する。</li> <li>触媒の働きとその利用を学習する。</li> <li>ルシャトリエの原理を理解し、ルシャトリエの原理の応用例としてアンモニアの製法を学習する。</li> <li>平衡定数の意味を学習する。</li> <li>pHについての理解を深め、平衡定数の応用を学習する。</li> </ul>		
		1章 化学反応の速さ				
		2章 化学平衡				
	10	3章 電解質水溶液の平衡	中間考査			
	11	第4編 無機物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>水素と希ガス</li> <li>ハロゲン・酸素・硫黄</li> <li>窒素・リン</li> <li>炭素・ケイ素</li> <li>アルカリ金属、2族元素</li> <li>アルミニウム、亜鉛</li> <li>遷移元素</li> <li>金属イオンの分離</li> <li>セラミックスの利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの元素の単体とその化合物について、性質や用途を学習する。</li> <li>実験、実習を中心に授業を行う。</li> </ul>	行動観察 小テスト 実験レポート ワークシート	
		1章 非金属元素				
		2章 典型金属元素				
		12				3章 遷移元素
		4章 無機物質と人間生活	期末考査			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第3学期	1	第5編 有機化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>脂肪族炭化水素</li> <li>有機化合物の分析</li> <li>アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸</li> <li>芳香族炭化水素</li> <li>酸素、窒素を含む芳香族化合物</li> <li>染料、医薬品、合成洗剤、食品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの元素の単体とその化合物について、性質や用途を学習する。</li> <li>実験、実習を中心に授業を行う。</li> </ul>	行動観察 小テスト 実験レポート ワークシート	
		1章 有機化合物の基礎				
		2章 脂肪族化合物				
		2				3章 芳香族化合物
			4章 有機化合物と人間生活	学年末考査		
	3	第6編 高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>糖類、アミノ酸、タンパク質</li> <li>合成繊維、プラスチック、ゴム</li> <li>機能性高分子とプラスチックの処理</li> </ul>			
		1章 天然高分子				
2章 合成高分子						
		3章 高分子化合物と人間生活	学年末考査			

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象に関心や探求心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>講義形式、実験形式いずれの授業においても集中力を保つ。</li> <li>授業で得た結果を基に発展的な興味をもって自主的活動を行う。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>授業内容について科学的な捉え方ができる。</li> <li>授業の成果をいかして社会や生活との関連を考えられる。</li> <li>発展的な内容についても思考を展開させられる。</li> </ul>
観察・実験の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。</li> <li>操作の意味をよく理解し、実技のレベルが的確である。</li> <li>実験結果に対する考察が十分であり、その内容を適切に伝達できる。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>学んだ内容が関連付けて整理され定着している。</li> <li>知識を用いて発展的な応用ができる。</li> </ul>

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

化学は「物質の変化」を扱う科目です。さまざまな現象に対し、原子・分子の目に見えない世界から考えることを心がけていきましょう。実験を多く取り入れていく予定なので、安全に配慮しながらさまざまな現象を楽しく学んでいきましょう。

## 令和5年度 理科「生物」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	スタンダード生物 (東京書籍)	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

1	「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。
2	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。
3	観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに実験結果を多角的に捉え、自分の考えを他者に説明できるようにする。
4	命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生命現象と物質 細胞と分子	1 生体物質と細胞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の基礎である細胞がどのような物質でつくられ、どのような構造をもち、どのようなはたらきをするか学習する。</li> <li>・ゾウリムシなどを材料に、光学顕微鏡で細胞を観察する。</li> </ul>	行動観察 (授業態度・発問評価)
		2 細胞膜を介した物質の移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質輸送や情報伝達、細胞構造の維持などの生命現象を支えるタンパク質の構造やはたらきについて学習する。</li> </ul>	ワークシート
5	3 生命現象とタンパク質 中間考査	3 生命現象とタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブタのレバーからカタラーゼを抽出して性質を調べる。</li> <li>・カタラーゼが過酸化水素を分解するしくみを理解する。</li> </ul>	実験レポート
		中間考査		中間考査
6	代謝	1 代謝とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。</li> </ul>	行動観察 (授業態度・発問評価)
		2 同化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。</li> </ul>	ワークシート
7	4 異化 期末考査	3 窒素同化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉緑体と光合成の関係について、実験を行い、確認する。</li> </ul>	実験レポート
		4 異化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつけられる過程であることを理解する。</li> <li>・ミトコンドリアと葉緑体の起源について、共生説の考え方を理解する。</li> </ul>	授業ノート
9	生殖と発生 有性生殖	1 減数分裂と受精	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物が同じ種を残すしくみを、細胞、染色体、遺伝子などのさまざまな視点から学習する。</li> </ul>	行動観察 (授業態度・発問評価)
		2 遺伝子と染色体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの対立遺伝子Aとa、Bとbが独立の場合、連鎖の場合、それぞれのF<sub>2</sub>分離比をモデルと表を用い計算で求める。</li> </ul>	ワークシート
10	動物の発生	1 配偶子形成と受精	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の発生過程に伴う胚の変化と遺伝子発現について学ぶ。</li> </ul>	実験レポート
		2 初期発生の過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精子と卵子の特徴を理解する。</li> </ul>	
11	植物の環境応答	3 細胞の分化と形態形成 中間考査		中間考査
		1 植物の環境応答と植物ホルモン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の生殖器官である花から種子ができて、発芽し葉・茎が分化するしくみを学習する。</li> </ul>	行動観察 (授業態度・発問評価)
12	動物の反応と行動	2 植物の環境応答とそのしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の環境応答の実際とそのしくみについて学習する。</li> <li>・各植物ホルモンの特徴を理解する。</li> </ul>	ワークシート
		1 刺激の受容と反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物が体内外の情報を得て反応を起こすしくみを学習する。</li> <li>・ヒトの場合20～20000Hzであるように、動物ごとに受容できる聴覚の範囲が異なることを学ぶ。</li> </ul>	実験レポート
		2 動物の行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物のいろいろな行動とそのしくみについて学習する。</li> </ul>	授業ノート
		期末考査		期末考査

1	生物の進化と系統	1 進化のしくみ 2 生物の起源と生物の変換  学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地球上にみられる多種多様な生物が、誕生後、どのような変遷をたどったか学習する。</li> <li>・過去5億年に5回起こったとされる大量絶滅の事実を学ぶ。</li> <li>・生物の分布などの証拠に支えられる大陸移動説について学ぶ。</li> <li>・生物の形質が世代を経るにつれて変化していく進化のしくみについて学習する。</li> <li>・自然選択説のダーウィンと中立説の木村資生について学ぶ。</li> <li>・生物の進化の道筋と、地球に生きる生物の多様性との関係性について学習する。</li> <li>・異なる種間での遺伝子の移動について学習する。</li> </ul>	行動観察 (授業態度・発問評価) ワークシート  実験レポート 授業ノート  学年末考査
---	----------	--	--	---

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間考査、期末考査、授業態度、発表、プリント・実験レポート等から4観点に基づき総合的に評価します。</li> </ul>
--

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>話をしっかりと聞いてください。          実験・観察も行います。危険な薬品や器具を使う場合もありますので、指示をしっかりと聞き安全に授業を行えるようにしてください。</p>
---

令和5年度 理科 「 地学 」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・3学年・E、F組（選択）
教科書	地学 改訂版（啓林館）	副教材等	ニュースページ 地学図表（浜島書店）

1 学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、観測的事実からその成り立ちを考え、基本となる地学の概念や原理・法則を理解し、科学的に探求する能力と態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第4部 宇宙の構造 第1章 太陽系の天体	1 地球の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の自転や公転について、証拠をあげながら考える。</li> <li>惑星の天球上での運動について、地動説に基づき考え、ケプラーの法則で示される惑星の公転運動を学ぶ。</li> <li>太陽系に属する天体について、その概観や特徴を俯瞰し、一部の天体についてトピック的に学ぶ。</li> <li>ごくありふれた恒星の一つである太陽の構造や特徴を概観し、遠くにある恒星を考える基礎について学ぶ。</li> </ul>	授業への参加状況 ・出席状況 ・授業に取り組む態度  発問に対する解答 ・考えているか ・論理的か  提出物や作業など ・完成されているか ・丁寧か  ノート、プリント 定期考査
			2 惑星の運動		
	5	3 太陽系の天体			
		4 太陽			
			中間考査		
	6	第2章 恒星の性質と進化	1 恒星の光 2 恒星の性質とHR図 3 恒星の誕生と進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>恒星から届く光を見ることで何が判るのかを学ぶ。</li> <li>HR図と、HR図から判る恒星の性質について、シミュレーションを行いながら考える。</li> <li>恒星のエネルギー源と恒星の進化について考える。</li> </ul>	
7	第3章 銀河系と宇宙	1 銀河系 2 銀河と宇宙 3 膨張する宇宙 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽系が属する銀河（銀河系）について、構造や大きさなどを学ぶ。</li> <li>特殊な銀河について学び、宇宙における銀河の分布を考える。</li> <li>宇宙の膨張と火の玉宇宙論、宇宙の創生からビッグバン等、現代宇宙論について学ぶ。</li> </ul>		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第3部 大気と海洋 第1章 大気 大気の構造	1 大気圏	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気組成や大気圏の構造について学ぶ。</li> <li>大気の断熱変化や安定性について学ぶ。</li> <li>マクロ的視点に立ち、エネルギー収支や大気の動きについて考察する。</li> <li>風の吹き方について、力学的手法を用いて考察する。</li> <li>マクロ的視点から大気の循環について考察する。</li> <li>偏西風帯に位置し、南に海洋、北に大陸という特殊な位置にある日本の天気の特徴について、実際の状況（地上天気図）を用いて考察する。</li> <li>海水の組成や海洋の温度分布などについて学ぶ。</li> <li>波浪や海流など、海水の運動について学ぶ。</li> </ul>	授業への参加状況 ・出席状況 ・授業に取り組む態度  発問に対する解答 ・考えているか ・論理的か  提出物や作業など ・完成されているか ・丁寧か  ノート、プリント 定期考査
			2 雨と雲		
	3 地球のエネルギー収支				
	10	第2章 大気の運動	1 風 2 大気の大循環と世界の気象 3 偏西風帯に位置する日本の四季		
		第3章 海洋と海水の運動	1 海洋 2 海水の運動		
		第4章 気候変動と地球環境	1 気候変動 2 物質の循環 3 人間の活動と地球環境 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気と海洋との相互作用から、地球規模の気候変動を探る。</li> <li>水や二酸化炭素の循環について考える。</li> <li>オゾンホールや温室効果ガスなど、人間の社会活動の結果もたらされた環境問題について考える。</li> </ul>	

第2学期	11	第1部 固体地球の概観と活動 第1章 地球の概観	1 地球の観測 2 重力で探る地球の内部 3 地震波で探る地球の内部 4 熱で探る地球の内部 5 地磁気で探る地球の内部	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の層構造について、『地学基礎』の既習項目を確認する。</li> <li>重力およびジオイドについて学ぶ。</li> <li>地震波の性質および地震波を用いて地球内部構造を探る方法について学ぶ。</li> <li>地球の内部からもたらされる熱について考える。</li> <li>地磁気についての基礎項目を学び、地磁気反転史や岩石残留磁気等について考える。</li> </ul>	授業への参加状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> </ul> 発問に対する解答 <ul style="list-style-type: none"> <li>考えているか</li> <li>論理的か</li> </ul>
	12	第2章 プレートテクトニクス 第3章 地球の活動	1 地球表面を覆うプレート 2 プレートテクトニクスの成立 3 プレートテクトニクスとマントルの動き 1 地震 2 地殻変動 3 火山と火成活動 4 造山帯と変成作用 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレートおよびプレートの境界問題について学ぶ。</li> <li>大陸移動説や海洋底拡大説を経てプレートテクトニクスという考え方が定着するまでの事柄を学ぶ。</li> <li>マントル内でのプレートの運動から、ブルームという概念が産まれてきたことを学ぶ。</li> <li>地震の基本的事項について学ぶ。</li> <li>地殻の上下方向および水平方向における変動について学ぶ。</li> <li>マグマの発生や火山活動、火成岩について学ぶ。</li> <li>変成作用および変成帯について学ぶ。</li> </ul>	提出物や作業など <ul style="list-style-type: none"> <li>完成されているか</li> <li>丁寧か</li> </ul> ノート、プリント 定期考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第2部 地球の歴史	1 地表の変化と堆積物	<ul style="list-style-type: none"> <li>侵食作用や堆積作用など地表の変化について考え、形成された地層構造や地形などの成り立ちを考察する。</li> <li>地層の広がりを3次元として捉え、表現する方法を学ぶ。</li> <li>地質時代を地層から考える手法を学ぶ。</li> </ul>	授業への参加状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> </ul> 発問に対する解答 <ul style="list-style-type: none"> <li>考えているか</li> <li>論理的か</li> </ul>
	2	第1章 地表の変化と地層 第2章 地球・生命・環境の歴史	2 地層の連続とその分布 3 地質時代の組み立て 1 地殻の進化 2 生命の進化 3 長期の気候変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>地質時代における地殻の変遷について学ぶ。</li> <li>地質時代における古生物の進化や絶滅について学ぶ。</li> <li>地質時代における気候変動の調べ方と、その周期的性質を学ぶ。</li> <li>日本列島におけるテクトニクス問題や地質構造について学ぶ。</li> </ul>	提出物や作業など <ul style="list-style-type: none"> <li>完成されているか</li> <li>丁寧か</li> </ul>
	3	第3章 私たちの日本列島	1 日本列島 2 日本列島の歴史 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島の形成史について、地質構造から探る。</li> </ul>	ノート、プリント 定期考査

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	地学的な事象や現象に関心や興味をもち、意欲的にそれらを探求するとともに、科学的思考態度を身につけている。
思考・判断・表現	地学的な事象や現象の中に問題を見だし、観察を行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析をし、総合的に考察して問題を解決し、この科学的に判断した考察を言語活動を通じて表現することができる。
観察・実験の技能	地学的な事象や現象に関する観察の技能を習得するとともに、それらを科学的に探求する方法を身につけ観察の過程や結果およびそこから導き出した自分の考えを的確に表現することができる。
知識・理解	観察などを通して地学的な事象や現象に関する基本的な概念や原理、法則を理解し、知識を身につけている。

### 4 評価の方法

・上記3『評価の観点』に示した、『関心・意欲・態度』、『思考・判断・表現』、『観察・実験の技能』、『知識・理解』の4観点に基づき総合的に評価をする。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

・高校の地学では、地球と宇宙を扱います。太古の我々の祖先から、地球の上で生活をし、地球が育んできた恵みを享受し、また利用してきました。特に現代社会において、地球から取り出した恩恵＝資源の利用する量は膨大なものとなっています。

・一方では、地震や火山噴火、気象災害など、我々の生活にとって非常に不都合な地球事象にもたびたび遭遇し、いかにこれら 災害から逃れるかという問題も重要視されてきています。

・また、先人達は宇宙に思いを馳せ、神話や天体の運動など、その時々で科学界をリードしてきました。2015年にニュートリノ 振動の発見でノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章氏や、2008に小林益川理論とCP対称性の破れの貢献で受賞した南部陽一郎、小林誠、益川敏英の3氏、2002年に素粒子ニュートリノ天文学で受賞した小柴昌俊氏も現代宇宙論と深く関わっています。

・自然は、何もしゃべりません。我々が関心を持って注意深くならなければ、答えは見つかりません。前述の小柴氏は、『何らかの事象について成果をあげるには、準備をしなければいけない』とおっしゃっています。ある事象を考えるには、それまでの経験や知識、理論、実験実習、シミュレーション、関係のないように見えるけれど人とのつながりなどの中から産まれるということなのでしょう。

・地学の扱う大きさや時間のスケールは、すべての教科・科目の中でもその大きさは桁違いに大きいです。当然科学を扱うので 実物を見ることは重要なのですが、なかなか実現できない問題でもあります。そこで、これを補うために写真を多用します。すなわち『百聞は一見に如かず』です。教科書や資料集は毎時間携帯してください。

## 令和5年度 保健体育科「体育」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)

### 1 学習の到達目標

- 1 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正・協力・責任などの態度を身に付ける。
- 2 自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫し、必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。
- 3 現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、スポーツとの関わり方や豊かなスポーツライフを設計し、実践していく方法を身に付ける

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	リエンション 各年齢におけるスポーツの楽しみ方、ライフスタイルの応じたスポーツとの関わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育学習の意義や内容、評価について理解する。</li> <li>・身体的特徴、心理的特徴、社会的特徴に応じた行い方や楽しみ方があることを理解する。</li> <li>・自ら積極的、継続的にスポーツに取り組む。身近なスポーツ施設や無理なく行える自由時間、一緒にスポーツを行う仲間といった諸条件を整えることが大切であることを理解する。</li> </ul>	行動観察 学習カード
5	体づくり運動	体ほぐし運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐし運動の意義について理解する。</li> <li>・ペアストレッチ</li> </ul>	行動観察
	【選択1】 球技	バスケットボール ソフトボール テニス バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団的技能や個人的技能を発揮し、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・攻撃側と防御側に分かれ、攻防を交替しながら得点を競い合うところに楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや打球に対応しゲームをできるようにする。</li> <li>・ルールについて理解する。</li> </ul>	行動観察 学習カード 記録測定 行動観察 学習カード スキルテスト
6	武道	剣道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼法、構え、足さばきと間合いの取り方</li> <li>・打突の仕方（正面打ち、胴打ち、小手打ち）、受け方</li> <li>・簡易試合</li> </ul>	行動観察 学習カード スキルテスト
7	ダンス 上記より 2種目選択	現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの歴史、特徴について理解する。</li> <li>・ヒップホップ、ストリートダンス（ジャンケン・手拍子）</li> </ul>	行動観察 学習カード 交流発表会
9	体育理論	スポーツ振興のための施策と諸条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や地方自治体の施策、スポーツ振興の支援団体について理解する。</li> </ul>	行動観察 学習カード
10	体づくり運動	体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワー系トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、馬跳び）</li> </ul>	行動観察
	【選択1】 球技	サッカー バドミントン 卓球 バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団的技能や個人的技能を発揮し、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや打球に対応しゲームをできるようにする。</li> </ul>	行動観察 学習カード スキルテスト
11	武道	剣道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールについて理解する。</li> <li>・礼法、構え、足さばきと間合いの取り方</li> <li>・打突の仕方（正面打ち、胴打ち、小手打ち）、受け方</li> <li>・簡易試合</li> </ul>	行動観察 学習カード スキルテスト
12	ダンス 上記より 2種目選択	現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの歴史、特徴について理解する。</li> <li>・ヒップホップ、ストリートダンス（ジャンケン・手拍子）</li> </ul>	行動観察 学習カード 交流発表会

1	体育理論	スポーツと環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツにかかわる人々の増加は、施設を中心に大規模な開発を伴うことから環境全体への影響が大きく、スポーツの発展のためには持続可能な開発と環境保護の観点から十分な検討・配慮が求められていることを理解する。</li> </ul>	行動観察 学習カード
2	体づくり運動	体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力を高めることの重要性について理解する。</li> <li>・自己に適したペースで走り続ける。</li> </ul>	行動観察
3	【選択1】 球技	サッカー バドミントン 卓球 バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団的技能や個人的技能を発揮し、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや打球に対応しゲームをできるようにする。</li> </ul>	行動観察 学習カード スキルテスト
	武道	剣道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールについて理解する。</li> <li>・礼法、構え、足さばきと間合いの取り方</li> <li>・打突の仕方（正面打ち、胴打ち、小手打ち）、受け方</li> <li>・簡易試合</li> </ul>	行動観察 学習カード スキルテスト
	ダンス (2学期同様)	現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの歴史、特徴について理解する。</li> <li>・ヒップホップ、ストリートダンス（ジャンケン・手拍子）</li> </ul>	行動観察 学習カード 発表交流会

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしているか。</li> <li>・健康や安全に留意して運動しようとしているか。</li> </ul>
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか。</li> <li>・課題の解決を目指し、工夫しているか。</li> </ul>
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、技能を高めているか。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。</li> </ul>

### 4 評価の方法

<p>関心・意欲・態度については、授業参加への意欲・行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>思考・判断については、授業での行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>運動の技能については、授業への参加の仕方や態度の観察。学習カードやスキルテストからの読み取り。</p> <p>知識・理解については、授業での行動観察（ゲーム時のルール理解）。学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>以上、4観点から総合的に評価する。</p>
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>授業開始時刻、服装、授業規律などをしっかりと守り、参加するだけでなく、主体的に活動しましょう。</p> <p>また、その場にいる全員がその種目を楽しめるように、これまでの2年間で習ったことを生かして、運動の仕方は勿論のこと、<b>経験者を中心にルールやハンディを工夫したり、ゲームの運営（審判・チーム分け等）</b>にも主体的に取り組みましょう。</p> <p>自身の取り組みたい種目を選択することが増えるため、これまで以上に出席し、参加することが重要になります。欠席・遅刻・見学がなるべく無いようにしましょう。</p>
---

## 令和5年度 保健体育科「体育総合」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）

### 1 学習の到達目標

- 1 自己の能力・適性等に応じて種目を選び、自己やチームの能力を最大限に発揮し専門的な技術や戦術、作戦を修得し、相手やチームに応じた攻防を展開できる。
- 2 自己やチームに適した目標や課題を適切に設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにする。
- 3 選択する種目についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の構造及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、審判法、球技大会や競技会の開催の仕方やその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面から教養を身に付ける。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	【選択1】 球技	刈込マシーン  (ゴール型) バスケットボール サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育総合の内容、評価について理解する。</li> <li>・自らが選択した種目の実践を通して、より高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができるようになることを目指します。</li> </ul>	行動観察  行動観察 学習カード スキルテスト
5		(ネット型) バレーボール バドミントン テニス 卓球		
6	【選択2】 球技	(ベースボール型) ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの球技に関心を抱き、幅広く球技を楽しめるようにします。</li> <li>・チームや自己の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方やゲームの仕方を工夫できる能力を育みます。</li> <li>・ボールなどを用いて、集団的技能や個人的技能を発揮し、攻撃と防御を展開し勝敗を争うことの中から、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わいます。</li> </ul>	
7		上記より 2 種目 選択して行う		
9	【選択3】 球技	(ゴール型) バスケットボール サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが選択した種目の実践を通して、より高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができるようになることを目指します。</li> <li>・多くの球技に関心を抱き、幅広く球技を楽しめるようにします。</li> <li>・チームや自己の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方やゲームの仕方を工夫できる能力を育みます。</li> <li>・ボールなどを用いて、集団的技能や個人的技能を発揮し、攻撃と防御を展開し勝敗を争うことの中から、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わいます。</li> </ul>	行動観察 学習カード スキルテスト
10		(ネット型) バレーボール バドミントン テニス 卓球		
11	【選択4】 球技	(ベースボール型) ソフトボール		
12		上記より 2 種目 選択して行う		

1	【選択4】 球技 (2学期同様)	(ゴール型) バスケットボール サッカー	・自らが選択した種目の実践を通して、より高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を發揮してゲームをすることができるようになることを目指します。	行動観察 学習カード スキルテスト
2	【自宅学習】	(ネット型) バレーボール バドミントン テニス 卓球  (ベースボール型) ソフトボール	・多くの球技に関心を抱き、幅広く球技を楽しめるようにします。  ・チームや自己の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方やゲームの仕方を工夫できる能力を育みます。  ・ボールなどを用いて、集団的技能や個人的技能を發揮し、攻撃と防御を展開し勝敗を争うことの中から、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わいます。	
3		上記より2種目 選択して行う		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	・専門的な知識及び目的に応じた技能、これらを活用して課題を解決するため主体的に学習に取り組んでいるか。
思考・判断	・自己やチームに適した目標や課題を適切に設定して練習に取り組み、その課題を解決できているか
運動の技能	・自己やチームの能力を最大限に發揮し専門的な技術や戦術、作戦を習得し、相手やチームに応じた攻防を展開できているか。
知識・理解	・種目の成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の構造及び技能の高め方、技術分析ができているか。 ・初心者への指導法、審判法、球技大会や競技会の開催の仕方やその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面から理解しているか。

### 4 評価の方法

<p>関心・意欲・態度については、授業参加への意欲・行動観察、学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>思考・判断については、授業での行動観察、学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>運動の技能については、授業への参加の仕方や態度の観察、学習カードやスキルテストからの読み取り。</p> <p>知識・理解については、授業での行動観察（ゲーム時のルール理解）、学習カードの記載内容からの読み取り。</p> <p>以上、4観点から総合的に評価する。</p>
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>「体育総合」は運動を通して、<u>リーダーシップ</u>を育むことを目的とした授業になります。「体育総合」で培ったリーダーシップを「体育」で發揮し、<u>他の生徒の見本</u>となることを求めます。従って、必修科目の「体育」以上に<u>授業開始時刻、服装、授業規律</u>などをしっかりと守り、<u>向上心を持って</u>自ら競技に取り組む姿勢や、指示をよく聞いて<u>率先して練習やゲームの準備</u>をしたり、<u>審判などの運営</u>に積極的ににかかわろうとしたりする姿勢などを評価します。</p> <p>また、<u>仲間へのポジティブな声かけ</u>など、経験の有無、<u>性別問わず</u>コミュニケーションをとることも重要です。</p> <p>選択科目として自ら希望した科目である以上、<u>出席し授業に参画する</u>（≒積極的に参加する）ことの重要度が極めて高いです。他の選択科目と違い定期考査もありません。「体育」と違い週2コマしかありません。睡眠時間や朝食をとるなどし、万全の体調で臨んでください。</p>
---

## 令和5年度 芸術科「音楽Ⅲ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F 組選択者
教科書	改訂版 高校生の音楽3 (音楽之友社)	副教材等	

### 1 学習の到達目標

曲の特徴や雰囲気を感じ取り、適格に表現する。  
 卒業後、社会に出てからの音楽をよりよく結びつけられるようにする。  
 今まで身につけた知識や技術をより高め、自分にしかできない表現を目指す。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	発声	発声法	・正しい発声法、呼吸法を習得する。	行動観察
5	歌唱	四部合唱 「歌え！歌え！」	・音程、リズムを正しく表現できるようにする。 ・パートの役割を理解して表現を工夫する。	
6	鑑賞	「ドラムライン」 「アマデウス」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。 ・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	
7	歌唱テスト	「歌え！歌え！」	・グループに分かれ、四部合唱で発表する。	音程、バランス 表現力
9	歌唱	四部合唱 「いざ立て戦人よ」	・音程、リズムを正しく表現できるようにする。 ・パートの役割を理解して表現を工夫する。	行動観察
10	鑑賞	「チキ・チキ・バン・バン」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力
11		「オペラ座の怪人」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力
12		「ウエスト・サイド物語」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力
		「グレン・ミラー物語」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力
1	鑑賞	「キャッツ」	・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	表現力
2				
3				

### 3 評価の観点

音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

### 4 評価の方法

音楽への関心・意欲・態度、音楽表現の創意工夫、音楽表現の技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

音楽の表現において大切なことは、上手が下手かよりも音楽の一部分になれるかどうかだと思います。なんとなく覚えて演奏するのではなく、音楽のルール（拍や音の高さなど）も感じましょう。共通のルールの中で友人とアンサンブルすると、より一体感を体験できるでしょう。

音楽には、色々な心が込められています。また、心を込めることもできます。心のこもった音楽はとても美しいと思いますので、心を大切にしましょう。

楽器や楽譜を大切にしましょう。道具を大切にすることは、よりよい心と音につながっていくと思います。何かわからないことがあったら、その日の内に解決しましょう。質問をする、調べる等、いろいろな方法があると思います。音楽は実技科目です。その時間を大切に過ごさないと意味がありません。毎時間、みんなで一緒に参加しましょう。

## 令和5年度 芸術科「音楽表現」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F 組選択者
教科書	MOUSA1 (教育芸術社)	副教材等	

### 1 学習の到達目標

<p>曲の特徴や雰囲気を感じ取り、適格に表現する。</p> <p>卒業後、社会に出てからの音楽をよりよく結びつけられるようにする。</p> <p>今まで身につけた知識や技術をより高め、自分にしかできない表現を目指す。</p>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	発声	発声法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発声法、呼吸法を習得する。</li> <li>・2年間、音楽から離れていたメンバーなので、十分な発声を行う。</li> <li>・音程、リズムを正しく表現できるようにする。</li> <li>・楽曲の作曲された背景などについて知る。</li> </ul>	行動観察
5	歌唱	ドイツ歌曲 「野ばら」		
6	鑑賞	「アニー」 「オズの魔法使い」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。</li> <li>・鑑賞後に感想文を書く。</li> <li>・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。</li> <li>・鑑賞後に感想文を書く。</li> </ul>	
7	歌唱テスト	「野ばら」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏会形式で独唱する。</li> </ul>	音程、リズム 表現力
9	器楽	鍵盤楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の正しいフォームを身に付ける。</li> <li>・まずは片手で弾けるようにする。</li> <li>・両手で弾けるようにする。</li> </ul>	行動観察
10	鑑賞	「チキ・チキ・バン・バン」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。</li> <li>・鑑賞後に感想文を書く。</li> </ul>	表現力
11		「オペラ座の怪人」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。</li> <li>・鑑賞後に感想文を書く。</li> </ul>	表現力
		「ウエスト・サイド物語」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。</li> <li>・鑑賞後に感想文を書く。</li> </ul>	表現力
12	器楽テスト	鍵盤楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの進度に合った楽曲を選び演奏する。</li> </ul>	表現力
1	鑑賞	「キャッツ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD を用いてミュージカルの鑑賞をする。</li> <li>・鑑賞後に感想文を書く。</li> </ul>	表現力
2				
3				

### 3 評価の観点

音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

### 4 評価の方法

音楽への関心・意欲・態度、音楽表現の創意工夫、音楽表現の技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

音楽の表現において大切なことは、上手が下手かよりも音楽の一部分になれるかどうかだと思います。なんとなく覚えて演奏するのではなく、音楽のルール（拍や音の高さなど）も感じましょう。共通のルールの中で友人とアンサンブルすると、より一体感を体験できるでしょう。

音楽には、色々な心が込められています。また、心を込めることもできます。心のこもった音楽はとても美しいと思いますので、心を大切にしましょう。

楽器や楽譜を大切にしましょう。道具を大切にすることは、よりよい心と音につながっていくと思います。何かわからないことがあったら、その日の内に解決しましょう。質問をする、調べる等、いろいろな方法があると思います。音楽は実技科目です。その時間を大切に過ごさないと意味がありません。毎時間、みんなで一緒に参加しましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	高校生の美術3（日本文教出版）	副教材等	

## 1 学習の到達目標

美術の幅広い創作活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を高める。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	●オリエンテーション ●教科書を見る	○授業の姿勢や注意事項の確認 ○教科書の作品の鑑賞	・美術Ⅱで学んだことを確認し、さらに深く多様な美術表現を学び美術Ⅲの学習イメージを持つ。 ・教科書内の作品を鑑賞して、幅広い表現方法を理解し、興味を持つ。	・授業参加状況 ・ワークシート ・授業参加状況 ・ワークシート
	5	●立体表現「 casting 」	○彫刻 casting についての基礎知識	・ casting についての基礎知識を学習し、作品制作に対して興味を持つ。 ・有名作品の鑑賞を通して美術への理解を深め、造形や工夫、良さや美しさを感じ取る。	・授業参加状況 ・ワークシート
	6		○課題作品制作 アイディアスケッチ 原型制作 型取り casting 研磨	・座学での学習をもとに作品制作を行う。 ・作品の構想を練る。 ・構想をもとに彫刻を行う。 ・制作上の注意を確認し casting を行う。 ・ヤスリを使用し完成度を高める。	・授業参加状況 ・ワークシート ・作品
	7	●鑑賞	○作品鑑賞・展示	・制作した作品を鑑賞して、他者の表現や工夫を感じ取り、良さや美しさを見つける。	・授業参加状況 ・ワークシート

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	●自己表現 「ポートフォリオ」	○デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオの基礎知識を学習し、作品制作に対して興味を持つ。</li> <li>・有名作品の鑑賞を通して美術への理解を深め、造形のや工夫、良さや美しさを感じ取る。</li> <li>・座学での学習をもとに作品制作を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加状況</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
	10		○ポートフォリオについての基礎知識		
	11	●鑑賞	○課題作品制作 アイディアスケッチ 素材収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の構想を練る。</li> <li>・意図に応じた素材を制作・収集する。</li> </ul>	
12	○作品制作 構成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の意図に応じて、収集した素材を構成する。</li> </ul>		
			○作品鑑賞・展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作した作品を鑑賞して、他者の表現や工夫を感じ取り、良さや美しさを見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加状況</li> <li>・ワークシート</li> <li>・作品</li> </ul>
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	●鑑賞	○作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の制作を振り返り、自身や他者の創意工夫を感じ取るとともに、美的体験や社会に対する美術の役割を感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加状況</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	・美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現活動や鑑賞などの創造活動に取り組もうとする。
発想・構想	・完成や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
創造的な技能	・創造的な美術の表現をするために必要な技術を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。
鑑賞の能力	・美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、発想・構想、創造的な技能、鑑賞の能力の4観点に基づいて総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に出席、参加することが大切です。実技教科のため授業参加状況が重視されるため、できるだけ出席しましょう。</li> <li>・ただ課題を提出するのではなく、取り組む態度や計画通りに制作を進めること、また後片付けも評価の対象になります。</li> <li>・上手下手にとらわれず、丁寧に心のこもった作品制作を心がけましょう。作品完成も大切ですが、制作の中で何を考え何を感じたかも重要です。</li> </ul>
---

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	高校生の美術1（日本文教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

美術の幅広い創作活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を高める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	●オリエンテーション	○授業の姿勢や注意事項の確認	・中学校で学んだことを思い出し、多様な美術を学び美術表現の学習イメージを持つ。	・授業参加状況 ・ワークシート
		●教科書を見る	○教科書の作品の鑑賞	・教科書内の作品を鑑賞して、幅広い表現方法を理解し、興味を持つ。	・授業参加状況 ・ワークシート
	5	●絵画表現	○水彩・油彩	・絵画の種類や画材・技法など基礎知識を学習し、絵画制作に興味を持つ。	・授業参加状況 ・ワークシート
			絵画の基礎知識		
6	●鑑賞	・絵画実習 絵画技法の実践（水彩） 水彩作品制作 絵画技法の実践（油彩） 油彩作品制作	・座学での学習を活かし、絵画技法を実践する。	・授業参加状況 ・練習作品	
		○作品の鑑賞・作品展示	・制作した作品を鑑賞して、他者の表現や工夫を感じ取り、良さや美しさを見つける。 ・有名作品の鑑賞を通して美術への理解を深め、作品の構成や工夫、良さや美しさを感じ取る。	・授業参加状況 ・課題作品 ・ワークシート	
	7				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	●版画表現	○版画の基礎知識  印刷体験	・版画の基礎知識を学習し、版画作品に対して興味を持つ。 ・既存の版画で印刷を行い、製作上の工夫点を感じ取る。	・授業参加状況  ・ワークシート
	10		○版画制作 アイデアスケッチ 版制作	・イメージスケッチを行い、構想を練る。 ・座学での学習をもとに、版の制作を行う。	・版
	11		○版画制作 試印刷 課題作品印刷	・完成した版を使用して、意図する印刷が行えるように、試印刷・修正を行う。 ・自身のイメージする作品に仕上げる。	・授業参加状況 ・試印刷作品 ・課題作品
	12	●鑑賞	○作品鑑賞・展示	・制作した作品を鑑賞して、特性を生かした表現やや配色の工夫を感じ取り、良さや美しさを見つける。 ・有名作品の鑑賞を通して美術への理解を深め、作品の構成や工夫、良さや美しさを感じ取る。	・授業参加状況 ・ワークシート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	●鑑賞	○作品鑑賞	・1年間の制作を振り返り、自身や他者の創意工夫を感じ取るとともに、美的体験や社会に対する美術の役割を感じ取る。	・授業参加状況 ・ワークシート

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	・美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現活動や鑑賞などの創造活動に取り組もうとする。
発想・構想	・完成や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
創造的な技能	・創造的な美術の表現をするために必要な技術を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。
鑑賞の能力	・美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、発想・構想、創造的な技能、鑑賞の能力の4観点に基づいて総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

・授業に出席、参加することが大切です。実技教科のため授業参加状況が重視されるため、できるだけ出席しましょう。  
・ただ課題を提出するのではなく、取り組む態度や計画通りに制作を進めること、また後片付けも評価の対象になります。  
・上手下手にとらわれず、丁寧で心のこもった作品制作を心がけましょう。作品完成も大切ですが、制作の中で何を考え何を感じたかも重要です。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	光村図書「書Ⅲ」	副教材等	

## 1 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	書体と書風の変遷	復習	書体がどのように今の形へとなったのか改めて復習という形で理解させる。2年次に勉強した古典を復習する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
		篆書の学習	天發神讖碑	篆書から隸書の変遷の途中に着目させる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
		隸書の学習	礼器碑	力強い隸書に着目させる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	5	仮名の学習	関戸本古今和歌集	1・2年次で勉強した仮名と比較して線と突き返しに着目しながら臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	6	行書の学習	祭姪文稿	1・2年次で勉強した行書と比較してどのような特徴があるのかに着目させながら臨書させる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
		楷書の学習	爨宝子碑	1・2年次で勉強した楷書と比較してどのような特徴があるのかを鑑賞を通して感じてもらう。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
漢字半切臨書		半切臨書 小テスト	3年次で勉強した古典から選んで半切に臨書する。半切に臨書する際の紙面構成の仕方を再確認してから臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞 小テスト	
第2学期	9	仮名の学習	用具・用材 色紙制作	仮名に必要な紙を自分たちで作ってみる。平安時代の貴族がいかに紙に力を入れて華やかな作品へ仕上げていたのかを把握してからオリジナルの色紙を制作する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	10	創作仮名	紙面構成の仕方 制作	今まで勉強してきた臨書作品を基盤とした作品を作成した色紙に清書して創作をする。墨場必携を活用させた作品制作をする。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	刻字の学習	用具・用材 印稿・制作	刻字を作るにあたって必要な材料の名前を理解する。表札を自分の名字で1つ作り、印稿を作成。その後運刀し着色する。彫るにあたって運刀の仕方、注意事項を把握してもらおう。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	12	小筆の学習	細字臨書	1年から3年までに勉強した古典の中から1つ選択して小筆による細字臨書をする。小筆による扱い方を勉強する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
第3学期	1	漢字仮名交じりの書	卒業ソングを合作しよう	書道表現の選択者と共同制作をし、卒業ソングの歌詞を書いていく。 漢字に合う古典を決め、その古典に合うようなひらがなを自分で考えながら制作する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞

### 3 評価の観点

書道への 関心・意欲・態度	書道の伝統性や表現方法の多様さに興味・関心を持ち、積極的に書活動へ取り組もうとしているか。
発想や構想の能力	書活動をする中で発想や感性から構想し、最終的な自分自身の課題を捉えることができているか。
創造的な技能	書を表現するために必要な技能を身に付け、多様な表現を自分の意図したまますることができているか。
鑑賞の能力	書の伝統文化を理解し、書を芸術という観点から捉え考察することができているか。

### 4 評価の方法

書道への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

書道は、古来から続く日本の伝統文化であり人格の完成に必要な不可欠な創造力を養うことができます。沢山の古典作品を主体的に鑑賞することにより発想力や表現方法を豊かなものにします。また発想を自分の力で制作することで力の可能性を広げることができます。時間厳守や作品提出期限厳守、道具を大切に扱うなどのモラルを徹底するようにします。授業中は私語を慎み、集中して作品制作に努めるようにします。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F組
教科書	光村図書「書Ⅰ」	副教材等	新星出版社「美しく正しい字が書ける筆ペン字練習帳」

## 1 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	書写と書道の違い	書体の変遷 文房四宝 表現の方法	書写から書道の違いを把握させ、書体がどのように今の形へと変わったのか理解させる。文房四宝の意味と種類によってどのように変わってくるかを様々な用具・用材で試してみる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	5	楷書の学習	九成宮醜泉銘	楷書の古典作品の中でも代表的な作品の特徴と線質・書風を学び、理解したうえで臨書する。作者の表現方法により作品が変わることを理解したうえで臨書をさせる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
			孔子廟堂碑 雁塔聖教序		
	6	行書の学習	顔氏家廟碑 牛橛造像記	楷書の古典作品の中でも代表的な作品の特徴と線質・書風を学び、理解したうえで臨書する。作者の表現方法により作品が変わることを理解したうえで臨書をさせる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
行書の特徴を捉える 蘭亭序	行書の成立、楷書との違いや特徴を理解する。今まで行書だと思っている整った行書はまだ確立されていないがこの蘭亭序こそ行書の完成といえることを知る。		興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞		
7	一学期まとめ	小テスト	一学期に勉強した古典の中から好きな古典を選択し、臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞 小テスト	
第2学期	9	実用書	基本用筆	体裁良く書けるようバランスの良い字を書くポイントを掴む。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	10		氏名 住所 封筒・葉書 のし袋	自分の氏名、住所を正しく丁寧に書けるようにする。  封筒や葉書、のし袋のマナーを学ぶ。	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	実用書	行書、連綿	続け字や連綿の書き方を学ぶ。	興味・関心 ワークシート 提出作品、鑑賞
	12	漢字の学習	小筆細字	今まで勉強してきた臨書作品の中から半紙に小筆で制作する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
第3学期	1	漢字仮名交じりの書	卒業ソングを合作しよう	書道Ⅲの選択者と共同制作をし、卒業ソングの歌詞を書いていく。 漢字に合う古典を決め、その古典に合うようなひらがなを自分で考えながら制作する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	2				
	3				

### 3 評価の観点

書道への 関心・意欲・態度	書道の伝統性や表現方法の多様さに興味・関心を持ち、積極的に書活動へ取り組もうとしているか。
発想や構想の能力	書活動をする中で発想や感性から構想し、最終的な自分自身の課題を捉えることができているか。
創造的な技能	書を表現するために必要な技能を身に付け、多様な表現を自分の意図したまますることができているか。
鑑賞の能力	書の伝統文化を理解し、書を芸術という観点から捉え考察することができているか。

### 4 評価の方法

書道への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

書道は、古来から続く日本の伝統文化であり人格の完成に必要な不可欠な創造力を養うことができます。沢山の古典作品を主体的に鑑賞することにより発想力や表現方法を豊かなものにします。また発想を自分の力で制作することで力の可能性を広げることができます。時間厳守や作品提出期限厳守、道具を大切に扱うなどのモラルを徹底するようにします。授業中は私語を慎み、集中して作品制作に努めるようにします。

## 令和5年度 外国語「コミュニケーション英語Ⅱ」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～F 組
教科書	VISTA II English Communication (三省堂)	副教材等	コーパス 1800 (東京書籍) Listening pilot(第一学習社)

### 1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。</li> <li>・英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できるように、基礎的な英語の能力を養う。</li> </ul>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Lesson 1 Birthdays, Here and There	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞や if で始まる節</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの国の誕生日の文化について理解する。</li> <li>・疑問詞や if で始まる節について理解できているか。</li> <li>・内容を理解した上で読んでいるか。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
5	Lesson 2 The Emerald Isle  コーパス 1800 P156～167	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原級, 比較級, 最上級</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイルランドとはどんな国か理解する。</li> <li>・原級, 比較級, 最上級を理解できているか。</li> <li>・内容を理解した上で読んでいるか。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析  考査
6	Lesson 3 The Sagrada Familia	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分詞</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産であるサグラダファミリアについて理解する。</li> <li>・名詞を修飾する現在分詞, 過去分詞について理解できているか。</li> <li>・内容を理解した上で読んでいるか。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
7	Lesson 4 Nobel Prize Episode  コーパス 1800 P168～179	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知覚動詞</li> <li>・to 不定詞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーベル賞について理解する。</li> <li>・知覚動詞について理解できているか。</li> <li>・to 不定詞について理解できているか。</li> <li>・内容を理解した上で読んでいるか。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析  考査
9	Lesson 5 Flowers in the Tomb	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使役動詞</li> <li>・関係代名詞 what</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツタンカーメンの墓について理解する。</li> <li>・使役動詞について理解できているか。</li> <li>・関係代名詞 what について理解できているか。</li> <li>・内容を理解した上で読んでいるか。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
10	Lesson 6 Becoming the Best  コーパス 1800 P180～191	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞+to 不定詞</li> <li>・seem の用法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・錦織圭選手のインタビュー記事について理解できているか。</li> <li>・疑問詞+to 不定詞について理解できているか。</li> <li>・seem の用法について理解できているか。</li> <li>・内容を理解した上で読んでいるか。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析  考査
11	Lesson 7 The Galapagos Islands	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了進行形</li> <li>・形式目的語</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラパゴス諸島について理解する。</li> <li>・現在完了進行形について理解できているか。</li> <li>・形式目的語について理解できているか。</li> <li>・内容を理解した上で読んでいるか。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
12	Lesson 8 Shodo, Old and New  コーパス 1800 P192～205	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分否定</li> <li>・助動詞+受け身</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道の長い伝統について理解する。</li> <li>・部分否定について理解できているか。</li> <li>・助動詞+受け身について理解できているか。</li> <li>・内容を理解した上で読んでいるか。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析  考査

1	Lesson 9 Water World	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞の非制限用法</li> <li>・現在完了の受け身</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水族館の歴史と発展について理解する。</li> <li>・関係代名詞の非制限用法について理解できているか。</li> <li>・現在完了の受け身について理解できているか。</li> <li>・内容を理解した上で読んでいるか。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析  考査
---	-------------------------	--	---	----------------------------

### 3 評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度：(関)	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
英語表現の能力：(表)	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。
英語理解の能力：(理)	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての 知識・理解：(知)	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

### 4 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、英語表現の能力、英語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を理解したうえで音読を何度もして、英語の感覚を身につけるようにしましょう。</li> <li>・ある事柄を英語で表現するにはどうしたらいいかを常に頭に置き、実際声に出してみましょう。</li> <li>・授業中にしか英語に接する機会が無いかもしれませんので、授業中は積極的に音読やペアワークに参加し英語を話しましょう。</li> <li>・学習したことは自分の口で言ってみると身につくやすいので、積極的に声を出して復習をしましょう。</li> <li>・自学自習ができることが将来的にも大切です。辞書や参考書を利用して自分で学べるようにしてください。</li> </ul>
--

## 令和5年度 外国語「基礎英語」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通 科 3年 A～F 組選択者
教科書	Vista English Communication I New Edition (数研出版)	副教材等	コーパス 1800 (東京書籍) UNITE STAGE 0 (数研出版)

### 1 学習の到達目標

- ・英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。
- ・英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できるように、基礎的な英語の能力を養う。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Let's start	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> <li>・自己紹介</li> <li>・他己紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語での挨拶の仕方を知る</li> <li>・自己紹介の仕方を知る</li> <li>・他人を紹介する</li> </ul>	行動観察
5	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文の種類</li> <li>・品詞</li> <li>・語順</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定文や疑問文の作り方を知る</li> <li>・名詞や動詞など品詞について知る</li> <li>・英語に於いて語順の大切さを知る</li> <li>・十分な音声で内容を理解をして読む</li> </ul>	ワークシート分析 行動観察
6	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時制 (1) (現在形、過去形、進行形、など)</li> <li>・英語のユーモアの理解</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時制とその動詞形の使い方を知る</li> <li>・話しのおもしろさを理解する</li> <li>・意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
中間考査				
7	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時制 (2) (現在完了形)</li> <li>・科学的文章の読解</li> <li>・自分の夢を語る</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了が理解する</li> <li>・論理的な読みを学ぶ</li> <li>・英語で自己表現をする</li> <li>・意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 can, may, must, would shall</li> <li>・エッセイの読解</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なニュアンスの助動詞の使い分けを知る</li> <li>・Q and A に対応できるか</li> <li>・意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
期末考査				
9	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身</li> <li>・戦後の沖縄球児について</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な文脈に於いて受け身が使えるようにする</li> <li>・戦後の沖縄について理解する</li> <li>・意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
10	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞</li> <li>・本課での英語ゲームのやり方を理解し、実演する</li> <li>・本課以外のゲームを行う</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞を用いた様々な表現が使えるようにする</li> <li>・英文を理解し、それに基づいて実演する</li> <li>・英語のゲームをする</li> <li>・意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
中間考査				
考査				

11	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>動名詞</li> <li>会話文を読む</li> <li>食文化について</li> <li>日本食の紹介</li> <li>音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動名詞を理解し、使えるようにする</li> <li>当事者のように読む</li> <li>異文化理解を深める</li> <li>英語で日本食を紹介する</li> <li>意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
12	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>分詞</li> <li>動物園とその動物について</li> <li>音読</li> </ul> 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在分詞、過去分詞を適切に使えるようにする</li> <li>Q and A に対応できるか</li> <li>意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析  考査
1	Lesson 9  Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞</li> <li>記号とその意味するものについて</li> <li>自分なりの記号を作って紹介</li> <li>音読</li> <li>比較</li> <li>自然科学に関する文章読解</li> <li>音読</li> </ul> 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な接続詞が適切に使えるようにする</li> <li>Q and A に対応できるか</li> <li>英語で発表する</li> <li>意味を理解した上で読んでいるか</li> <li>様々な比較表現を知る</li> <li>Q and A に対応できるか</li> <li>意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析  行動観察 ワークシート分析  考査

### 3 評価の観点

コミュニケーションへの関心・意欲・態度：(関)	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
英語表現の能力：(表)	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。
英語理解の能力：(理)	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての知識・理解：(知)	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

### 4 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、英語表現の能力、英語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を理解したうえで音読を何度もして、英語の感覚を身につけるようにしましょう。</li> <li>ある事柄を英語で表現するにはどうしたらいいかを常に頭に置き、実際声に出してみよう。</li> <li>授業中にしか英語に接する機会が無いかもしれませんので、授業中は積極的に音読やペアワークに参加し英語を話しましょう。</li> <li>学習したことは自分の口で言ってみると身につけやすいので、積極的に声を出して復習をしましょう。</li> <li>自学自習ができることが将来的にも大切です。辞書や参考書を利用して自分で学べるようにしてください</li> </ul>
--

## 令和5年度 外国語「応用英語」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～F 組選択者
教科書	Vista English Communication II New Edition (三省堂)	副教材等	コーパス 1800 (東京書籍) UNITE STAGE 1 (数研出版)

### 1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。</li> <li>・英語を通じて考えを表現する能力を伸ばすと共に、言語に対する見方、分析力を深め、主体的に取り組む態度を育成する。</li> </ul>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Let's start	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> <li>・自己紹介</li> <li>・他己紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語での挨拶の仕方を知る</li> <li>・自己紹介の仕方を知る</li> <li>・他人を紹介する</li> </ul>	行動観察
5	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文の種類</li> <li>・品詞</li> <li>・語順</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定文や疑問文の作り方を知る</li> <li>・名詞や動詞など品詞について知る</li> <li>・英語に於いて語順の大切さを知る</li> <li>・十分な音声で内容を理解をして読む</li> </ul>	ワークシート分析 行動観察
6	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文型（動詞による5文型）</li> <li>・品詞について理解させる</li> <li>・日米の文化差</li> <li>・音読</li> </ul> <p style="text-align: center;">中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞による文型の違いの理解</li> <li>・主語、動詞、目的語、補語の区別をする</li> <li>・話しのおもしろさが分かるようにする</li> <li>・意味を理解した上で読んで いるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析 考査
7	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時制（1）（現在形、過去形、進行形、など）</li> <li>・時間を追って文章を理解させる</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞の活用ができるか</li> <li>・時間を追っての読みをする</li> <li>・意味を理解した上で読んで いるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
7	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時制（2）（未来を表す表現）</li> <li>・自国文化の理解</li> <li>・日本文化について発表</li> <li>・音読</li> </ul> <p style="text-align: center;">期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の表現について知る</li> <li>・Q and Aに対応できるか</li> <li>・自己表現をする</li> <li>・意味を理解した上で読んで いるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析 考査
9	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時制（3）（完了形）</li> <li>・気候についての理解</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了形を理解する</li> <li>・国によって暴風雨等の呼称の違いを理解する</li> <li>・意味を理解した上で読んで いるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
10	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞（1） can, may, must, would shall</li> <li>・紙と電子辞書について理解</li> <li>・音読</li> </ul> <p style="text-align: center;">中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞の違いを理解する</li> <li>・紙と電子辞書の良い点、悪い点の区別をする</li> <li>・意味を理解した上で読んで いるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析 考査

11	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞（推量を表す助動詞）</li> <li>・トイレを巡る表現の差</li> <li>・音読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推量助動詞を理解する</li> <li>・異文化理解を深める</li> <li>・意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析
12	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態</li> <li>・会話文を読む</li> <li>・音読</li> </ul> <p>期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態を文脈に応じて適切に使う</li> <li>・Q and A に対応できるか</li> <li>・意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析  考査
1	Lesson 9  Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞（1）</li> <li>・エッセイを読む</li> <li>・音読</li> </ul> <p>不定詞（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文に関する文章読解</li> <li>・音読</li> </ul> <p>学年末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な不定詞が適切に使う</li> <li>・Q and A に対応できるか</li> <li>・意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な不定詞の表現を学ぶ</li> <li>・Q and A に対応できるか</li> <li>・意味を理解した上で読んでいるか</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析  行動観察 ワークシート分析  考査

### 3 評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度：(関)	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
英語表現の能力：(表)	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。
英語理解の能力：(理)	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての 知識・理解：(知)	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

### 4 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、英語表現の能力、英語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループワークを多く取り入れていきます。積極的に活動に取り組むようにしましょう。決まったペアではなく、何度も何度もペアやグループを替えます。</li> <li>・音読や英語表現は、実際声に出してみましょう。</li> <li>・間違えることは誰にでもあります。間違えることを恐れないようにしましょう。</li> <li>・学校内外問わず、実用英語技能検定準2級や2級に挑戦してもらいたいと思っています。合格できるように授業をしていきますので、ぜひ挑戦してみましょう。そのため、内容も難しくなると思います。一緒に頑張りましょう！</li> </ul>
---

## 令和5年度 家庭科「生活デザイン研究」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・3年選択
教科書	「家庭総合」自立・共生・創造 東京書籍	副教材等	資料集 生活学Navi 実教出版

### 1 学習の到達目標

家庭生活、福祉、消費生活、食生活などに関する知識と技術を体験的に習得させ、生涯を見通した生活を考え、様々な人と共に生きる力を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生活をつくる	1 生涯の生活設計	・生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解します。	行動観察 ワークシート
5	手芸製作	2 ライフスタイルと生活設計	・簡単な手芸作品を制作し、生活に生かす。	発言内容 実習作品
6		高齢者と共に生きる	1. 高齢者の生活と社会	・生涯を見通して高齢期をとらえるとともに、高齢者の身体的、心理的特徴について理解します。
7	2. 高齢者を理解する		・高齢者の意思の尊重や残存能力を生かす生活支援の在り方について考えます。	ワークシート 発言内容
	3. 高齢者を支えるしくみ		・高齢化の特徴や居住地域の高齢化の状況について理解します。	行動分析
		4. 高齢者を介護する		
		5. これからの高齢社会		
9	共に育つ親子	1. 子どもの育つ力	・子どもと実際にかかわり、子どもは生活の中で人と関わりを通して育つことを理解します。	行動観察 実習作品
10		2. 親として共に育つ	・子どもの発育・発達には、個人差があるが一定の順序と共通性があることを理解します。	小テスト ワークシート
11		3. 健やかに育つ環境づくり	・愛着形成や将来の人間関係の基盤について考え、保育の責任は親と社会の支援であることを理解します。	ワークシート
12	食べる	1 ライフステージにおける食事	・近年の子どもを取り巻く環境の変化について考えます	
			・ライフステージにおける食事の違いから、家族それぞれの栄養的な特徴について理解します。	行動観察
			・基本的な調理実習を通して体験的に身に付けます。	ワークシート 小テスト

1	日本の伝統料理 生活を設計する	1.生活設計の考え方 2.家庭生活と地域福祉	・日本の伝統料理（お正月料理）  ・将来の生活に向かって目標を立て、展望をもって生活することの重要性を理解します。	行動観察  ワークシート  発言内容
---	--------------------	---------------------------	---	--------------------------------

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	積極的に授業に参加し、学んだ内容について実際の家庭生活の中で実践しようとしている。 遅刻・欠席が少なく、授業や実習に積極的に取り組む態度が見られる。 福祉について感心を持ち、問題解決や充実向上を目指して意欲的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。
技能	衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。
知識・理解	家庭生活の意義や役割を理解している 家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。 福祉の役割を理解し、問題解決や充実向上するために必要な基礎的・基本的知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者から（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項）

生活デザイン研究は「福祉」に関するさまざまな項目をより専門的に学ぶ科目です。日頃から、自分の生活を見直す意識を持ち、「福祉」に関する情報に敏感になりましょう。積極的に授業や実習に参加し、そこで得た知識や技術を日常生活で生かし、より主体的な高校生活が送れることを期待します。

令和5年度 家庭科 「服飾手芸」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・3学年・A～F組選択者
教科書	家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)	副教材等	資料集 2021 生活学Navi (実教出版)

1 学習の到達目標

- ① 衣服および手芸の技法などに関する知識と技術の習得を目指します。  
 ② 衣服や手芸品を創造的に製作し、衣生活に活用する能力と態度を育てます。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	刺繍	刺繍の基礎 クロスステッチによるコースターの製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な刺繍について学ぶとともに、その基本的技法を習得する。</li> <li>・製作を通して基本のステッチ、縫い代の始末などの方法を身につける。</li> <li>・自己表現として図案に合う刺繍糸の配色を考える。</li> </ul>	ワークシート 実習作品
	5	被服の機能	平面構成と立体構成 和服について 和服の特徴 和服の各部の名称 和服のたたみ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の構成について学ぶ。</li> <li>・日本の民族衣装である和服の特徴を学ぶ。</li> <li>・和服の各部の名称を理解する。</li> <li>・年齢や性別による違いについての知識を身につける。</li> <li>・和服のたたみ方を習得する。</li> </ul>	ワークシート ワークシート 発言内容 行動観察 実技テスト 小テスト
	6	被服の製作	基礎縫い 赤ちゃん甚平の製作 裁断 本縫い 上衣 下衣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和服独特の縫い方、縫い代の始末についてその意義を理解し、技術を身につける。</li> <li>・和服製作についての知識と技術を習得する。</li> <li>・一つ身の裁断の仕方を学ぶ。</li> <li>・そでやおくみの縫い方を理解する。</li> <li>・きせや肩あげの役割を学ぶ。</li> <li>・えりやそでの構造を理解する。</li> </ul>	実習作品 実技テスト 実習作品 ワークシート 行動観察
	7	小物の製作	巾着の製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刺繍した布で巾着の製作を行う。</li> <li>・完成をイメージしながら、合理的に裁断・縫製する。</li> </ul>	ワークシート 実習作品
第2学期	9	被服の製作	ハーフパンツの製作 裁断 縫い代の始末 本縫い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭総合で学んだ知識を踏まえ、ミシンの基礎技術を習得する。</li> <li>・パンツの構造を理解し、自分の体型に合った型紙を選択する。</li> <li>・ジグザグミシンによる縫い代始末の方法を学ぶ。</li> <li>・場面に応じた正しいミシンの技術を習得する。</li> </ul>	ワークシート 行動観察 実技テスト 実習作品
	10		また下・すそ また上・ウエスト		ワークシート
		手芸の種類と特徴	伝統文化としての手芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刺繍、染色、編物など様々な手芸を理解し、伝統文化と関連付けて学ぶ。</li> </ul>	ワークシート 発言内容・小テスト

	11	小物の製作	スヌードの製作	・基本的な棒針編みの技術を身につけ、スヌードを製作する。	行動観察・実習作品 ワークシート
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	手芸作品の製作	羊毛フェルト作品の製作  自由製作	・フェルティングニードルを使った羊毛フェルトの作品を製作し、創作することの楽しさを学ぶ。 ・自分なりにアレンジし、製作を行う。  ・残り布や古着を活用し、自由に小物を製作する。	ワークシート  実習作品  行動観察

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	・衣服や手芸の構成・材料・製作について関心を持ち、衣生活の充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、創造的に製作する態度を身につけている。
思考・判断・表現	・衣服や手芸の構成・材料に関して、課題を見出し、思考を深め、創意工夫し、表現する能力を身につけている。 ・製作については、目的に応じてどのような材料・デザインが適当かを判断する力を身につけている。
技能	・実習を通じて技能を習得し、製作題材を踏まえた的確な技法を用い、計画に従って能率的に衣服や手芸の製作を行うことができる技能を身につけている。
知識・理解	・衣服や手芸の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、創造的に製作するために必要な知識を身につけている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- ・服飾手芸は「衣生活」に関するさまざまな項目をより専門的に学ぶ科目です。社会に出て自立した生活を送るためのさまざまな技術と知識を学びます。積極的に授業や実習に参加し、そこで得た知識や技術を日常生活で生かし、より主体的な高校生活を送れることを期待します。
- ・作品は必ず完成したものを提出してください。欠席すると、内容がわからなくなったり作業が遅れてしまいますので、休まないようにしましょう。作業が遅れた場合は、昼休みや放課後に補習を行います。
- ・被服室での講義や実習になります。積極的、主体的に実習等に取り組みましょう。その際は、安全等に注意し、道具や材料の取り扱いに注意しましょう。